

横浜市立大学小児科学教室
2024 年 業績集

横浜市立大学小児科学教室

【2024 年 Best Paper 受賞論文】

英語論文部門

吉富 誠弘 先生

High DOCK1 expression identifies a distinct prognostic subgroup of pediatric acute myeloid leukemia: Results of the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group AML-05 trial.

(Pediatr Blood Cancer. 2024 Sep ; 71(9):e31151)

【要旨】

＜序論＞

小児急性骨髄性白血病(Acute Myeloid Leukemia, AML)の患者は急性前骨髄球性白血病を除くと 150 名程度であり、約 10%が寛解導入不応、約 30%が再発をきたしている。AML は様々な染色体異常、遺伝子異常を背景に有するヘテロな疾患であり、染色体分染法 (G-banding 法) などにより多くの症例で白血病細胞に特異的な転座、構造異常が認められる。これらの異常は治療反応性や予後と関連することが知られており、リスクに応じた治療層別化や造血幹細胞移植の適応決定のための重要な指標として利用されている。近年の治療法、支持療法の進歩により、小児がん全体の治療成績は向上しつつあり、小児急性リンパ性白血病 (Acute Lymphoid Leukemia, ALL) の 5 年全生存率 (Overall survival, OS) が 90%に達している。一方で、小児 AML の 5 年 OS は 60%台であり、依然として再発難治症例の予後は不良であることを考慮すると、治療成績はまだ不十分であると言わざるを得ない。難治性の小児 AML に対し、新規治療方針の開発は急務と考えられる。

＜実験材料と方法＞

AML の患者検体に対し Assay for Transposase-Accessible Chromatin using sequencing (ATAC-seq) を行い、予後不良因子をもつ患者における特徴を解析した。日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) の臨床研究、AML-05 研究に参加された 369 名の患者から得られた検体を用い、定量的 PCR を行い、解析を行った。ヒト AML の細胞株である MOLM14 に *DOCK1* 遺伝子を高発現させ、その薬剤感受性を解析した。

＜結果＞

AML 患者検体に ATAC-seq を行った結果、予後不良因子を持つ患者検体において、*DOCK1* 遺伝子におけるオープン領域の増加が認められた。AML-05 研究に参加された 369 名の患者から得られた検体に対し、*DOCK1* 遺伝子の発現を測定したところ、132 名が高発現であった。*DOCK1* 遺伝子低発現の患者と比較して、全生存率 (OS, overall survival) 及び無イベント生存率

(EFS, event-free survival) はいずれも、高発現の患者が有意に低下していた (3 年 EFS: 34% vs. 60%、P 値 < 0.001、3 年 OS: 60% vs. 80%、P 値 < 0.001)。また、*DOCK1* 遺伝子の発現と、現在 AML における予後良好因子である *RUNX1::RUNX1T1* 融合遺伝子発現、bZIP *CEBPA* 遺伝子変異、*NPM1* 遺伝子変異とを組み合わせることで、OS をもとにして 3 群に層別化することができ、*DOCK1* 遺伝子の発現を、新たに予後予測因子に加えることができると考えられた。(3 年 OS: favorable = 93%、medium = 67%、adverse = 47%、P 値 < 0.001)。

DOCK1 遺伝子の機能解析のため、ヒト AML の細胞株である MOLM14 に *DOCK1* 遺伝子を高発現させた。*DOCK1* 遺伝子を高発現させた MOLM14 (*DOCK1*/MOLM14) を用いて薬剤感受性試験を行ったところ、シタラビンと *DOCK1* 阻害剤を併用することで、*DOCK1* 遺伝子を高発現させていない細胞株と比較して、*DOCK1*/MOLM14 では有意に細胞の生存率が低下した。

<結語>

今回の実験結果では、*DOCK1* 阻害剤は *DOCK1* 遺伝子が高発現している予後不良な AML 患者において、シタラビンや既存の抗がん剤の効果を増強させることができる可能性を示した。

Case report 部門

小形亜也子 先生

Multinucleated podocytes as a clue to diagnosis of juvenile nephropathic cystinosis.

(Pediatr Nephrol. 2024 Feb ;39(2):609-612)

【要旨】

糸球体上皮細胞の多核化が診断に寄与した中間型シスチノーシスの一例.

小形亜也子, 出来沙織, 内村 暢, 稲葉 彩, 大谷方子, 伊藤秀一.

<緒言>

シスチノーシスは全身にシスチンが蓄積し、腎障害や眼症状など様々な全身症状を呈する稀な常染色体潜性遺伝のライソゾーム病である。シスチノーシスはシステアミン内服による早期治療が予後を著明に改善するが、特に中間型では Fanconi 症候群などの典型的な所見を呈さないため、しばしば診断に苦慮する。今回、腎病理所見における糸球体上皮細胞の多核化が診断に寄与した 13 歳女児例を経験した。過去に報告した中間型シスチノーシスの症例の病理所見と併せて報告する。

<症例>

生来健康な 13 歳女児。学校検尿で蛋白尿を指摘され当院受診となった。身体所見上は異常なく、尿検査で蛋白/クレアチニン=0.6 の蛋白尿と $\beta 2\text{MG}$ の軽度上昇を認めた。血液検査では腎機能障害は認めなかった。蛋白尿が持続したため腎生検を施行したところ、糸球体 34 個中 15 個の糸球体上皮細胞の多核化を認めた。また、多核化細胞あたりの平均核数は 4.4 であった。病理所見からシスチノーシスを疑い眼科にて細隙灯顕微鏡検査を施行したところ、特徴的な点状混濁を認めた。さらに、白血球中シスチン濃度測定で軽度上昇を認め、中間型シスチノーシスの診断に至った。システアミン内服を開始し、2 年経過した現在も病状の進行は認めていない。なお、過去に報告した症例においては糸球体 63 個中 25 個の糸球体上皮細胞の多核化を認め、多核化細胞あたりの平均核数は 2.9 であった。

<結語>

シスチノーシスは早期治療により予後を著明に改善しうるが、しばしば診断に苦慮する。糸球体上皮細胞の多核化は本疾患に特異的であり、早期診断に寄与する重要な病理所見である。

日本語論文部門

中村春野 先生

小児尿路感染症の超音波検査に関する後方視的検討.

(外来小児科 27(2): 108-113)

【要旨】

超音波検査は、小児科外来でも疾患の診断や治療方針決定に有用なツールである。

小児の尿路感染症の診療でも超音波検査は有用な手段ではあるが、小児科医師と超音波検査士の検査の正確性についての報告はこれまでにない。今回、藤沢市民病院で過去 5 年間に診療した尿路感染症症例について、小児科医群と超音波検査士群の検者間誤差に関する観察研究を行ったので報告する。

両者の超音波検査の揃った計 72 症例に対し、各症例の臨床的特徴の他、検査項目（腎盂拡大の有無や腎臓のサイズなど）について、小児科医群と超音波検査士群の違いを統計学的に分析した。その結果、小児科医群では超音波検査士群と比較して有意に検査項目が少なかった。

また、腎臓サイズの測定については Bland-Altman 分析を用いた検定を行い、小児科医は腎臓サイズを小さく測定する傾向が示された。腎盂拡大の評価に関しては、SFU (the Society of Fetal Urology) 分類の測定結果から算出される全一致率が低かった。

本研究結果は、小児科医が小児外来で念頭に置くべき傾向が示され、小児科医による超音波検査の正確性を改善する一助となる可能性がある。

同門会新人賞部門

米井 萌 先生

解離性障害として経過観察中に脂肪肝と特異な食癖を指摘され、シトルリン欠損症の診断に至った一例。

(横浜医学 75(2): 49-53)

【要旨】

症例は 15 歳女性。突然発症した意識障害を伴う不随意運動と腹痛のため当院に入院した。不随意運動に対しては頭部 CT、脳波、神経伝導速度検査など各種検査を行ったが明らかな原因は特定できず、解離性障害と診断して薬物治療を開始した。また、脂肪肝を認め、非アルコール性脂肪性肝疾患 (non-alcoholic fatty liver disease; NAFLD) として外来で栄養指導を行っていたが、蛋白質や脂質の過剰摂取が続いていた。

初診から 5 年が経過し、次第に具体的な食事内容から極端に蛋白質や脂質を好む食癖が明らかとなり、シトルリン欠損症が疑われた。遺伝子診断を行い確定診断に至った。

解離性障害の症状と診断されていた不随意運動は成人発症Ⅱ型シトルリン血症 (adult-onset type 2 citrullinemia; CTLN2) による症状と考えられた。CTLN2 による高アンモニア脳症が適切に治療されず、放置されれば脳浮腫をきたし死に至ることもある。NAFLD と異なり低糖質・高蛋白・高脂肪食の食事指導が重要である。飲酒が CTLN2 の発症の引き金となることもあり、小児の脂肪肝では、シトルリン欠損症も鑑別に挙げ、飲酒機会がある成人に達するまでに診断することが重要である。

【学位取得】

井手健太郎：第1946号（甲）

Perioperative risk factors for neurological impairment in infants with acute liver failure following liver transplantation.

（乳児の急性肝不全における中枢神経後遺症に関する肝移植周術期のリスク因子の検討）

窪田祥平：第 1716 号（乙）

The clinical cross-reactivity and immunological cross-antigenicity of wheat and barley.

（小麦と大麦の臨床的交差反応性ならびに免疫学的交差抗原性）

服部成良：第 1712 号（乙）

Characteristics of persistent arthritis with refractory Kawasaki disease; a single-center retrospective study.

（川崎病に合併する遷延性関節炎の臨床像に関する研究）

【表彰】

Kasai T: Trainee Abstract Award. Outcome of Fungemia Caused by Yeast in Children: Significance of Breakthrough Fungemia and Source Identification, IDWeek 2024.

医学教育分野別評価検討ワーキンググループ; 寺内康夫, 稲森正彦, 四宮和樹, 高桑みづき, 梅村将就, **西村謙一**, 日下部明彦, 藤田浩司, 藤原亮, 廣瀬智威, 飯田洋: 令和 5 年度理事長・学長表彰 (教職協働・職員部門). 医学教育分野別評価受審の取組, 横浜市立大学, 2024.

池田 梓: 第 21 回 こども医療センター優秀論文賞 (黒木賞). Genetic and clinical features of pediatric-onset hereditary spastic paralysis: a single-center study in Japan, 神奈川県立こども医療センター, 2024.

清水博之, 川田智子, 森 雅亮: 第 56 回日本小児感染症学会ポスター賞. 妊娠期梅毒患者および出生児の非トレポネーマ脂質抗体 (RPR) の比較, 第 56 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 2024.

矢内貴憲: 令和 6 年度発達科学研究教育奨励賞, 公益財団法人発達科学研究教育センター, 2024.

矢内貴憲: 第 44 回日本川崎病学会・学術集会 優秀演題賞. 母体血中重金属濃度と川崎病との関連性: エコチル調査, 第 44 回日本川崎病学会・学術集会, 2024.

【原著論文】

Ait Bamai Y, Miyashita C, Ikeda A, Yamazaki K, Kobayashi S, Itoh S, Saijo Y, Ito Y, Yoshioka E, Sato Y, Kishi R, Kamijima M, Yamazaki S, Ohya Y, Yaegashi N, Hashimoto K, Mori C, **Ito S**, Yamagata Z, Inadera H, Nakayama T, Sobue T, Shima M, Nakamura H, Suganuma N, Kusuhashi K, Katoh T: Prenatal risk factors of indoor environment and incidence of childhood eczema in the Japan Environment and Children's Study. *Environ Res*, 252(Pt 2):118871, 2024. doi:10.1016/j.envres.2024.118871.

Akiyama M, Kamei K, Nishi K, Kaneda T, Inoki Y, Osaka K, Sato M, Ogura M, **Ito S**: Frequency and prognosis of peritoneal dialysis-associated peritonitis in children. *Clin Exp Nephrol*, 28(7):692-700, 2024. doi:10.1007/s10157-024-02482-x.

Aoki T, Shiba N, **Tsujimoto S**, Yamato G, Hara Y, Kato S, Yoshida K, Ogawa S, Hayashi Y, Iwamoto S, Taki T, Shimada A, Iijima-Yamashita Y, Horibe K, Tawa A, Taga T, Adachi S, Tomizawa D: High IL2RA/CD25 expression is a prognostic stem cell biomarker for pediatric acute myeloid leukemia without a core-binding factor. *Pediatr Blood Cancer*, 71(2):e30803, 2024. doi:10.1002/pbc.30803.

Arai T, Kato I, Kawabata Y, **Tsujimoto S**, Ishikawa Y, Kato S, Takeyama M, Yamanaka S, Kohashi K, Oda Y, Fujii S: A Case of Myxoid Pleomorphic Liposarcoma with Rhabdoid Cells: A Diagnostic Pitfall. *Int J Surg Pathol*, 32(7):1339-1344, 2024. doi:10.1177/10668969241226695.

Chida-Nagai A, Masaki N, Maeda K, Sasaki K, Sato H, Muneuchi J, Ochiai Y, Murayama H, Tahara M, Shiono A, Shinozuka A, Kono F, Machida D, Toyooka S, Sugimoto S, Nakamura K, Akagi S, Kondo M, Kasahara S, Kotani Y, Koizumi J, Oda K, Harada M, Nakajima D, Murata A, Nagata H, Yatsunami K, Kobayashi T, Matsunaga Y, Inoue T, Yamagishi H, Nakagawa N, Ohtani K, Yamamoto M, Ito Y, **Hokosaki T**, Kuwahara Y, Masutani S, Nomura K, Wada T, Sawada H, Abiko M, Takahashi T, Ishikawa Y, Okada S, Naitoh A, Toda T, Ando T, Masuzawa A, Hoshino S, Kawada M, Nomura Y, Ueno K, Ohashi N, Tachibana T, Cao Y, Ueda H, Yanagi S, Koide M, Mitsushita N, Higashi K, Minosaki Y, Hayashi T, Okamoto T, Kuraishi K, Ehara E, Ishida H, Horigome H, Murakami T, Takei K, Ishii T, Harada G, Hirata Y, Maeda J, Tatebe S, Ota C, Hayabuchi Y, Sakazaki H, Sasaki T, Hirono K, Suzuki S, Yasuda M, Takeda A, Sawada M, Miyaji K,

Kitagawa A, Nakai Y, Kakimoto N, Agematsu K, Manabe A, Saiki Y: Corrigendum: Use of the index of pulmonary vascular disease for predicting longterm outcome of pulmonary arterial hypertension associated with congenital heart disease. *Front Cardiovasc Med*, 1:1369831, 2024. doi:10.3389/fcvm.2024.1369831.

De Mutiis C, Wenderfer SE, Basu B, Bagga A, Orjuela A, Sar T, Aggarwal A, Jain A, Boyer O, Yap HK, **Ito S**, Ohnishi A, Iwata N, Kasapcopur O, Laurent A, Chan EY, Mastrangelo A, Ogura M, Shima Y, Rianthavorn P, Silva CA, Trindade V, Tullus K: Development of clinical and laboratory biomarkers in an international cohort of 428 children with lupus nephritis. *Pediatr Nephrol*, 39(10):2959-2968, 2024. doi:10.1007/s00467-024-06405-6.

Ebato T, Kishi T, Akamine K, **Nozawa T**, Imagawa T, Bando Y, Miyamae T: Evaluation of medication withdrawal in patients with non-systemic juvenile idiopathic arthritis in Japan using a web-based survey. *Mod Rheumatol*, 34(6):1231-1237, 2024. doi:10.1093/mr/roae016

Fukui K, Ito Y, Kokubo M, Nakanishi H, Hirano S, Kusuda S, **Ito S**, Isayama T: Neonatal Research Network of Japan: Erythropoietin and retinopathy of prematurity: a retrospective cohort study in Japan, 2008-2018. *J Perinatol*, 44(6):886-891, 2024. doi:10.1038/s41372-024-01929-z.

Goto H, Kada A, Ogawa C, Nishiuchi R, Yamanaka J, Iguchi A, Nishi M, Sakaguchi K, Kumamoto T, Mochizuki S, Ueki H, Kosaka Y, Saito AM, Toyoda H: Treatment of relapsed acute lymphoblastic leukemia in children: an observational study of the Japan Children's Cancer Group. *Int J Hematol*, 120(5):631-638, 2024. doi:10.1007/s12185-024-03838-5.

Hangai M, Kawaguchi T, Takagi M, Matsuo K, Jeon S, Chiang CWK, Dewan AT, De Smith AJ, Imamura T, Okamoto Y, Saito AM, Deguchi T, Kubo M, Tanaka Y, Ayukawa Y, Hori T, Ohki K, Kiyokawa N, Inukai T, Arakawa Y, Mori M, Hasegawa D, Tomizawa D, Fukushima H, Yuza Y, Noguchi Y, Taneyama Y, Ota S, **Goto H**, Yanagimachi M, Keino D, Koike K, Toyama D, Nakazawa Y, Nakamura K, Moriwaki K, Sekinaka Y, Morita D, Hirabayashi S, Hosoya Y, Yoshimoto Y, Yoshihara H, Ozawa M, Kobayashi S, Morisaki N, Gyeltshen T, Takahashi O, Okada Y, Matsuda M, Tanaka T, Inazawa J, Takita J, Ishida Y, Ohara A, Metayer C, Wiemels JL, Ma X, Mizutani S, Koh K, Momozawa Y,

Horibe K, Matsuda F, Kato M, Manabe A, Urayama KY: Genome-wide assessment of genetic risk loci for childhood acute lymphoblastic leukemia in Japanese patients. *Haematologica*, 109(4):1247-1252, 2024. doi:10.3324/haematol.2023.282914.

Hara K, Kuroki M, Shiraishi S, Matsumura S, **Ito S**, Kurasawa K, Arimoto A, Matsuzaki Y: Evaluation of planned number of children, the well-being of the couple and associated factors in a prospective cohort in Yokohama (HAMA study): study protocol. *BMJ Open*, 14(2):e076557, 2024. doi:10.1136/bmjopen-2023-076557.

Haraguchi S, Watanabe Y, Inami Y, Odaka M, Motoi H, Shiga K, Tanoshima R, **Ito S**: Differential diagnosis of posterior reversible encephalopathy syndrome and acyclovir neurotoxicity in children: A literature review of acyclovir neurotoxicity. *Brain Dev Case Reports*, 2(1):10007, 2024. doi:10.1016/j.bdcasr.2024.100007.

Honda M, Inoue R, **Nishiyama K**, Ueda T, Komuro A, Amano H, Sugisawa R, Dash S, Shirakawa J, Okada H: Vgll2 as an integrative regulator of mitochondrial function and contractility specific to skeletal muscle. *J Cell Physiol*, 239(12):e31346, 2024. doi:10.1002/jcp.31436.

Ikeda A, Tsuji M, Nagafuchi H, Kuroda Y, Kurosawa K, Goto T: Opportunistic infections associated with extremely low-dose adrenocorticotrophic hormone therapy: Two cases of *Legionella* and *Pneumocystis carinii* pneumonia. *Brain and Development Case Report*, 2(4):100046, 2024. doi:10.1016/j.bdcasr.2024.100046.

Ikenaga C, Uchi R, **Ishida F**, Hirata M, **Iwama K**, Ina S, Tatsuno Y, **Kemmotsu T**, Shibasaki J, **Ito S**: Severe Early-Onset Vitamin K Deficiency Bleeding in a Neonate Born to a Mother with Crohn's Disease in Clinical Remission: A Case Report, *AJP Rep*, 14(1):e1-e6, 2024. doi:10.1055/a-2219-5024.

Ikenoue C, Matsui M, Inamine Y, Yoneoka D, Sugai M, Suzuki S; Antimicrobial-Resistant Bacteria Research Group of Public Health Institutes (AMR-RG-PHI): The importance of meropenem resistance, rather than imipenem resistance, in defining carbapenem-resistant Enterobacterales for public health surveillance: an analysis of national population-based surveillance. *BMC Infect Dis*, 24(1):209, 2024. doi:10.1186/s12879-024-09107-4.

Ishida H, **Tsujimoto SI**, Hasegawa D, Sakaguchi H, Yamamoto S, Yanagimachi M, Koh K, Watanabe A, Hama A, Cho Y, Watanabe K, Noguchi M, **Takeuchi M**, Takita J, Washio K, Kato K, Koike T, Hashii Y, Tabuchi K, Hino M, Atsuta Y, Okamoto Y: Optimizing transplantation procedures through identification of prognostic factors in second remission for children with acute myeloid leukemia with no prior history of transplant. *Haematologica*, 109(1):312-317, 2024. doi:10.3324/haematol.2023.283203.

Ishikawa T, **Nishimura K**, Okamoto N, Akamine A, Inoue N, Irabu H, Kato K, Keino H, Kojima M, Kubo H, Maruyama K, Mizuta M, Shabana K, Shimizu M, Sugita Y, Takakuwa Y, Takanashi S, Takase H, Umebayashi H, Umezawa N, Yamanishi S, Yamazaki K, Yashiro M, Yasumi T, Mori M: Efficacy and safety of tumor necrosis factor inhibitors for systemic juvenile idiopathic arthritis: a systematic review. *Mod Rheumatol*, 35(1):174-184, 2024. doi:10.1093/mr/roae050.

Ishitsuka K, Yamamoto-Hanada K, Mezawa H, Yang L, Saito-Abe M, Nishizato M, Sato M, Miyaji Y, Kumasaka N, Ohya Y; Japan Environment, Children's Study Group; Kamijima M, Yamazaki S, Kishi R, Yaegashi N, Hashimoto K, Mori C, **Ito S**, Yamagata Z, Inadera H, Nakayama T, Iso H, Shima M, Nakamura H, Suganuma N, Kusuhara K, Katoh T: Teenage and young adult pregnancy and depression: findings from the Japan environment and children's study. *Arch Womens Ment Health*, 27(2):293-299, 2024. doi:10.1007/s00737-023-01400-6.

Ito S, Saito A, Sakurai A, Watanabe K, Karakawa S, Miyamura T, **Yokosuka T**, Ueki H, **Goto H**, Yagasaki H, Kinoshita M, Ozeki M, Yokoyama N, Teranishi H: Eculizumab treatment in paediatric patients diagnosed with aHUS after haematopoietic stem cell transplantation: a HSCT-TMA case series from Japanese aHUS post-marketing surveillance. *Bone Marrow Transplant*, 59(3):315-324, 2024. doi:10.1038/s41409-023-02161-7.

Ito S, Morita Y, Nitami M, Iwama R, Nakajima A, Yamanaka H, Honda M: Efficacy and safety of febuxostat in Japanese paediatric patients with hyperuricaemia including gout: phase 2, single arm, open-label, multicentre studies. *Mod Rheumatol*, 35(1):194-202, 2024. doi:10.1093/mr/roae056.

Iyoda S, Yoshida K, Shoji K, Ito N, Tanaka M, Nannya Y, Yamato G, **Tsujimoto S**, Shiba N, Hayashi Y, Shiozawa Y, Shiraishi Y, Chiba K, Okada A, Tanaka H, Miyano S, Koga

Y, **Goto H**, Moritake H, Terui K, Ito E, Kiyokawa N, Tomizawa D, Taga T, Tawa A, Takita J, Nishikori M, Adachi S, Ogawa S, Matsuo H: KRAS G12 mutations as adverse prognostic factors in KMT2A-rearranged acute myeloid leukemia. *Leukemia*, 38(7):1609-1612, 2024. doi:10.1038/s41375-024-02244-4.

Kaiga C, Miyamoto M, Matsushita T, Kuramochi Y, **Tadaki H**, Enseki M, Kota Hirai K, Yoshihara S, Furuya H, Niimura F, Kato M, Mochizuki H: Effects of COVID-19 pandemic-associated reduction in respiratory infections on infantile asthma development. *J Allergy Clin Immunol Glob*, 3(3):100256, 2024. doi:10.1016/j.jacig.2024.100256.

Kajita N, Kaneko M, Kuroki M, Tomita M, Kawakami C, **Ito S**; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group: Discrepancy between Caregivers' Reports and Physicians' Evaluation of Causative Foods in Food Protein-Induced Enterocolitis Syndrome in Japan: The Japan Environment and Children's Study. *Int Arch Allergy Immunol*, 185(4):334-342, 2024. doi:10.1159/000535751.

Kasamatsu A, Kanou K, Fukusumi M, Arima Y, Omori S, Nakamura H, Sato T, Serizawa Y, Takeda A, Fujikura H, **Ikenoue C**, Nishiki S, Fujiya Y, Arashiro T, Takahashi T, Shimada T, Suzuki M, Sunagawa T: Epidemiologic Trends and Distributions of Imported Infectious Diseases Among Travelers to Japan Before and During the COVID-19 Pandemic, 2016 to 2021: A Descriptive Study. *J Epidemiol*, 34(4):187-194, 2024. doi:10.2188/jea.JE20230025.

Kato K, **Goto H**, Tanaka M, Suzuki T, Toyoda Y, Shinkai M, Kitagawa N, Nishi T, Kigasawa H, Kurosawa K, Aida N, Yoshimi A, Noda A, Ito Y, Seki M, Takita J, Nagahara N, Tsuchida M, Tanaka Y: Establishment and Characterization of a Novel Pleuropulmonary Blastoma Cell Line. *Genes Chromosomes Cancer*, 63(10):e23276, 2024. doi:10.1002/gcc.23276. PMID: 39400393.

Kato K, Nagai JI, **Goto H**, Shinkai M, Kitagawa N, Toyoda Y, Nishi T, Kigasawa H, Tanaka M, Kurosawa K, Ito Y, Haruta M, Kamijo T, Yoshimi A, Tsuchida M, Nagahara N, Tanaka Y: Establishment and characterization of a novel MDM2/MYC^N-co-amplified neuroblastoma cell line, NBN-SHIM, established from a late recurrent stage MS tumor. *Hum Cell*, 37(5):1602-1609, 2024. doi:10.1007/s13577-024-01106-6.

Kawazoe M, Nanki T, Saeki K, Ishikawa H, Nakamura Y, Kawashima S, **Ito S**, Kodera M, Konda N, Kaname S, Harigai M: Nationwide epidemiological survey of polyarteritis nodosa in Japan in 2020. *Mod Rheumatol*, 34(6):1284-1287, 2024. doi:10.1093/mr/roae010.

Kishio N, Iwama K, Nakanishi S, Shindo R, **Yasui M, Nicho N**, Takahashi A, Kohara M, Hirata M, **Kemmotsu T**, Tanoshima M, **Ito S** : A deletion variant in LMX1B causing nail-patella syndrome in Japanese twins . *Hum Genome Var*, 11(1):10 , 2024. doi:10.1038/s41439-024-00266-z.

Kumagai E, Tanaka M, Iwasaki F, Yanagimachi M, Hirokawa D, **Goto H**, Tanaka Y: Localized anaplastic lymphoma kinase-positive histiocytosis in a cerebellar hemisphere with long-term treatment: illustrative case. *J Neurosurg Case Lessons*, 7(22):CASE23466, 2024. doi:10.3171/CASE23466.

Kuroda Y, **Ikeda A**, Naruto T, Kurosawa K: Early-onset West syndrome with developmental delay associated with a novel KLHL20 variant. *Am J Med Genet A*, 194(7):e63600, 2024. doi:10.1002/ajmg.a.63600.

Matsumoto Y, **Fujita M**, Ayumi T, Takamasu T, Inuo C: Milk ladder versus early oral immunotherapy in infants with cow's milk protein allergy. *Clin Transl Allergy*, 14(8):e12388, 2024. doi:10.1002/clt2.12388.

McCloskey B, Saito T, Shimada S, **Ikenoue C**, Endericks T, Mullen L, Mota P, Kumar CK, Laxminarayan R, Budgett R, Heymann D, Zumla A: The Tokyo 2020 and Beijing 2022 Olympic Games held during the COVID-19 pandemic: planning, outcomes, and lessons learnt. *Lancet*, 403(10425):493-502, 2024. doi:10.1016/S0140-6736(23)02635-1.

Mitsushima S, Yahata Y, Tsuchihashi Y, **Ikenoue C**, Fukusumi M, Otake S, Shimada T, Yamagishi T, Kamiya H, Kobayashi Y, Kurosu H, Okuyama M, Morino S, Shibamura M, Takanashi S, Kamigaki T, Otani K, Nakashita M, Ito H, Miyazaki A, Koshiko M, Harakuni M, Onuma M, Chiba H, Masutani M, Sudani N, Satsuki Y, Takara T, Oka A, Katsuta T, Shimizu N, Saitoh A, Sakamoto T, Suzuki M, Sunagawa T; COVID-19 Fatal Pediatric Cases Database Group: Fatal SARS-CoV-2 Infection among Children, Japan, January-September 2022¹. *Emerg Infect Dis*, 30(8):1589-1598, 2024. doi:10.3201/eid3008.240031.

Miyachi H, Asai S, Kuroki R, Omi K, **Ikenoue C**, Shimada S: Continuous quality improvement with a two-step strategy effective for mass SARS-CoV-2 screening at the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games. *PLoS One*, 19(9):e0304747, 2024. doi:10.1371/journal.pone.0304747.

Miyake N, Tsurusaki Y, Fukai R, Kushima I, Okamoto N, Ohashi K, Nakamura K, Hashimoto R, Hiraki Y, Son S, Kato M, Sakai Y, Osaka H, Deguchi K, Matsuishi T, **Takeshita S**, Fattal-Valevski A, Ekhilevitch N, Tohyama J, Yap P, Keng WT, Kobayashi H, Takubo K, Okada T, Saitoh S, Yasuda Y, Murai T, Nakamura K, Ohga S, Matsumoto A, Inoue K, Saikusa T, HersHKovitz T, Kobayashi Y, Morikawa M, Ito A, Hara T, Uno Y, Seiwa C, Ishizuka K, Shirahata E, Fujita A, Koshimizu E, Miyatake S, Takata A, Mizuguchi T, Ozaki N, Matsumoto N: Molecular diagnosis of 405 individuals with autism spectrum disorder. *Eur J Hum Genet*, 32(12):1551-1558, 2024. doi:10.1038/s41431-023-01335-7.

Miyamae T, Manabe Y, Sugihara T, Umezawa N, Yoshifuji H, Tamura N, Abe Y, Furuta S, Nagafuchi H, Ishizaki J, Nakano N, Atsumi T, Karino K, Amano K, Kurasawa T, **Ito S**, Yoshimi R, Ogawa N, Banno S, Naniwa T, Ito S, Hara A, Hirahara S, Uchida HA, Onishi Y, Murakawa Y, Komagata Y, Nakaoka Y, Harigai M: Pregnancy and childbirth in Takayasu arteritis in Japan: A nationwide retrospective study. *Mod Rheumatol*, 35(2):339-344, 2024. doi:10.1093/mr/roae068.

Miyamoto T, Izawa K, Masui S, Yamazaki A, Yamasaki Y, Matsubayashi T, Shiraki M, Ohnishi H, Yasumura J, Kawabe T, Miyamae T, Matsubara T, Arakawa N, Ishige T, Takumi Takizawa T, Shimbo A, Shimizu S, Kimura N, Maeda Y, Maruyama Y, Shigemura T, Furuta J, Sato S, Tanaka H, Izumikawa M, Yamamura M, Hasegawa T, Kaneko H, Nakagishi Y, Nakano N, Iida Y, Nakamura T, Wakiguchi H, Hoshina T, Kawai T, Murakami K, Akizuki S, Morinobu A, Ohmura K, Eguchi K, Sonoda M, Ishimura M, Furuno K, Kashiwado M, Mori M, Kawahata K, Hayama K, Shimoyama K, Sasaki N, Ito T, Umebayashi H, Omori T, Nakamichi S, Dohmoto T, Hasegawa Y, Kawashima H, Watanabe S, Taguchi Y, Nakaseko H, Iwata I, Kohno H, Ando T, Ito Y, Kataoka Y, Saeki T, Kaneko U, **Murase A**, **Hattori S**, **Nozawa T**, **Nishimura K**, Nakano R, Watanabe M, Yashiro M, Nakamura T, Komai T, Kato K, Honda H, Hiejima E, Yonezawa A, Bessho K, Okada S, Ohara O, Takita J, Yasumi T, Nishikomori R: Japan CAPS Working Group: Clinical Characteristics of Cryopyrin-Associated Periodic

Syndrome and Long-Term Real-World Efficacy and Tolerability of Canakinumab in Japan: Results of a Nationwide Survey. *Arthritis Rheumatol*, 76(6): 949-962, 2024. doi:10.1002/art.42808.

Nakamura W, Hirata M, Oda S, Chiba K, Okada A, Mateos RN, Sugawa M, Iida N, Ushijima M, Tanabe N, Sakamoto H, Sekine S, Hirasawa A, Kawai Y, Tokunaga K; NCBN Controls WGS Consortium; **Tsujimoto SI**, Shiba N, **Ito S**, Yoshida T, Shiraishi Y: Assessing the efficacy of target adaptive sampling long-read sequencing through hereditary cancer patient genomes. *NPJ Genom Med*, 9(1):11, 2024. doi:10.1038/s41525-024-00394-z.

Nakayama Y, Nagata W, Takeuchi Y, Fukui S, Fujita Y, Hosokawa Y, Ueno M, Ono K, Sumitomo S, Tabuchi Y, Nakanishi Y, Saito S, Ikeuchi H, Kawamori K, Sofue H, Doi G, Minami R, Hirota T, Minegishi K, Maeshima K, Motoyama R, Nakamura S, Suzuki S, Nishioka N, Wada T, Onishi A, **Nishimura K**, Watanabe R, Yanai R, Kida T, Nishiwaki H, Yajima N, Kaneko Y, Tanaka E, Kawahito Y, Harigai M: Systematic review and meta-analysis for the 2024 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis. *Mod Rheumatol*, 34(6):1079-1094, 2024. doi:10.1093/mr/roae049.

Nishimura K, Ishikawa T, Okamoto N, Akamine A, Inoue N, Irabu H, Kato K, Keino H, Kojima M, Kubo H, Maruyama K, Mizuta M, Shabana K, Shimizu M, Sugita Y, Takakuwa Y, Takanashi S, Takase H, Umebayashi H, Umezawa N, Yamanishi S, Yamazaki K, Yashiro M, Yasumi T, Mori M: Efficacy and safety of abatacept for systemic juvenile idiopathic arthritis: a systematic review. *Mod Rheumatol*, 35(1):167-173, 2024. doi:10.1093/mr/roae046.

Nozu K, Sako M, Tanaka S, Kano Y, Ohwada Y, Morohashi T, Hamada R, Ohtsuka Y, Oka M, Kamei K, **Inaba A**, **Ito S**, Sakai T, Kaito H, Shima Y, Ishikura K, Nakamura H, Nakanishi K, Horinouchi T, Konishi A, Omori T, Iijima K: Rituximab in combination with cyclosporine and steroid pulse therapy for childhood-onset multidrug-resistant nephrotic syndrome: a multicenter single-arm clinical trial (JSKDC11 trial). *Clin Exp Nephrol*, 28(4):337-348, 2024. doi:10.1007/s10157-023-02431-0.

Nozawa T, Pullenayegum EM, Bell-Peter A, Marcuz JA, Whitney K, Vinik O, Shupak R, Dover S, Feldman BM: Disease activity trajectories in juvenile dermatomyositis from

childhood to adulthood. *Rheumatology (Oxford)*, 63(SI2):SI129-SI135, 2024. doi:10.1093/rheumatology/keae027.

Ogata A, Deki S, Uchimura T, Inaba A, Otani M, Ito S: Multinucleated podocytes as a clue to diagnosis of juvenile nephropathic cystinosis. *Pediatr Nephrol*, 39(2):609-612, 2024. doi:10.1007/s00467-023-06103-9.

Okabe Y, Murakoshi N, Kurebayashi N, Inoue H, Ito Y, Murayama T, Miyoshi C, Funato H, Ishii K, Xu D, Tajiri K, Qin R, Aonuma K, Murakata Y, Song Z, Wakana S, **Yokoyama U**, Sakurai T, Aonuma K, Ieda M, Yanagisawa M: An inherited life-threatening arrhythmia model established by screening randomly mutagenized mice. *Proc Natl Acad Sci U S A*, 121(17):e2218204121, 2024. doi:10.1073/pnas.2218204121.

Okumura S, Oka S, Sasaki T, Cooley MA, Hidaka Y, Inoue H, Nishijima H, Ohno SI, Tanifuji S, Kaneko M, Abe T, Kuroda M, Yokosuka T, Breyer RM, Homma H, Kato Y, **Yokoyama U**: Spatiotemporal EP4-fibulin-1 expression is associated with vascular intimal hyperplasia. *Cardiovasc Res*, 120(17):2293-2306, 2024. doi: 10.1093/cvr/cvae211.

Sakamoto A, Uchiyama T, Futatsugi R, Ohara O, Iguchi A, Kaname T, Hikosaka M, Ono H, Kunishima S, **Ito S**, Ishiguro A: Platelet changes and bleeding symptoms in children, adolescents, and adults with 22q11.2 deletion syndrome. *Pediatr Blood Cancer*, 71(11):e31292, 2024. doi:10.1002/pbc.31292.

Sakamoto M, Kurosawa K, Tanoue K, **Iwama K**, **Ishida F**, **Watanabe Y**, Okamoto N, Tsuchida N, Uchiyama Y, Koshimizu E, Fujita A, Misawa K, Miyatake S, Mizuguchi T, Matsumoto N: A heterozygous germline deletion within USP8 causes severe neurodevelopmental delay with multiorgan abnormalities. *J Hum Genet*, 69(2):85-90, 2024. doi:10.1038/s10038-023-01209-2.

Sakurai Y, Iwasaki F, Hirose A, Matsumoto N, Miyagawa N, Keino D, **Yokosuka T**, Hamanoue S, Yanagimachi M, Shiomi M, Goto S, Tanaka M, Tanaka Y, Nozawa K, **Goto H**: Metronomic Chemotherapy for Pediatric Refractory Solid Tumors: A Retrospective Single-center Study. *J Pediatr Hematol Oncol*, 46(5):233-240, 2024. doi:10.1097/MPH.0000000000002870.

Sobue Y, Nishi K, Kamei K, Inoki Y, Osaka K, Kaneda T, Akiyama M, Sato M, Ogura M,

Ishikura K, Ishiguro A, **Ito S**: Feasibility of discontinuing immunosuppression in children with idiopathic nephrotic syndrome. *Pediatr Nephrol*, 39(6):1825-1835, 2024. doi:10.1007/s00467-023-06270-9.

Suganuma E, Miura M, Koyama Y, Kobayashi T, Kaneko T, **Hokosaki T**, Numano F, Furuno K, Shiono J, Fuse S, Fukazawa R, Mitani Y: Regression effect of renin-angiotensin-aldosterone system inhibitors on Kawasaki disease patients with coronary artery aneurysm: a prospective, observational study. *Eur J Pediatr*, 183(11):4817-25, 2024. doi:10.1007/s00431-024-05765-3.

Tomizawa D, Matsubayashi J, Iwamoto S, Hiramatsu H, Hasegawa D, Moritake H, Hasegawa D, Terui K, Hama A, **Tsujimoto SI**, Kiyokawa N, Miyachi H, Deguchi T, Hashii Y, Iijima-Yamashita Y, Taki T, Noguchi Y, Koike K, Koh K, Yuza Y, Moriya Saito A, Horibe K, Taga T, Tanaka S, Adachi S: High-dose cytarabine induction therapy and flow cytometric measurable residual disease monitoring for children with acute myeloid leukemia. *Leukemia*, 38(1):202-206, 2024. doi:10.1038/s41375-023-02075-9.

Toyoshima K, Aoki H, Noguchi T, Saito N, Shimizu T, **Kemmotsu T**, Shimokaze T, Saito T, Shibasaki J, Kawataki M, Asou T, Tachibana T, Masutani S: Biventricular function in preterm infants with patent ductus arteriosus ligation: A three-dimensional echocardiographic study. *Pediatr Res*, 96(3):773-784, 2024. doi:10.1038/s41390-024-03180-w.

Ueki H, Ogawa C, **Goto H**, Nishi M, Yamanaka J, Mochizuki S, Nishikawa T, Kumamoto T, Nishiuchi R, Kikuta A, Yamamoto S, Igarashi S, Sato A, Hori T, Saito AM, Watanabe T, Deguchi T, Manabe A, Horibe K, Toyoda H: TBI, etoposide, and cyclophosphamide conditioning for intermediate-risk relapsed childhood acute lymphoblastic leukemia. *Int J Hematol*, 119(4):450-458, 2024. doi:10.1007/s12185-024-03710-6.

Watanabe A, Wang L, Tan TK, Urayama KY, Kizuki T, Komatsu C, Kagami K, Shinohara T, Kasai S, Tamai M, Harama D, Akahane K, Goi K, **Goto H**, Satou K, Kaname T, Sanda T, Inukai T: Acquired copy number amplification at the MYC enhancer in human B-precursor acute lymphoblastic leukemia cell lines. *Cancer Sci*, 115(9):3196-3199, 2024. doi:10.1111/cas.16260.

Watanabe K, Bunai T, **Sakamoto M**, Ishigaki S, Iwakura T, Ohashi N, Wakatsuki R, Takenouchi A, Iwaizumi M, Hotta Y, Saida K, Koshimizu E, Miyatake S, Saitsu H, Matsumoto N, Nakamura T: A family with neuronal intranuclear inclusion disease with focal segmental glomerulosclerosis. *J Neurol*, 271(9):6227-6237, 2024. doi:10.1007/s00415-024-12593-w.

Yanai T, Yoshida S, Takeuchi M, Kawakami C, Kawakami K, **Ito S**; Japan Environment and Children's Study Group: Association between maternal heavy metal exposure and Kawasaki Disease, the Japan Environment and Children's Study (JECS). *Sci Rep*, 14(1):9947, 2024. doi: 10.1038/s41598-024-60830-z.

Yamanaka J, Ogawa C, Arakawa A, Deguchi T, Hori T, Kiyokawa N, Ueki H, Nishi M, Mochizuki S, Nishikawa T, Kumamoto T, Nishiuchi R, Kikuta A, Yamamoto S, Koh K, Hasegawa D, Ogawa A, Watanabe K, Sato A, Saito AM, Watanabe T, Manabe A, Horibe K, **Goto H**, Toyoda H: Outcomes in children with first-relapsed acute lymphoblastic leukemia in Japan: Results from JCCG Study JPLSG-ALL-R08. *Pediatr Blood Cancer*, 71(12):e31319, 2024. doi:10.1002/pbc.31319.

Yokota S, Kamei K, Fujinaga S, Hamada R, **Inaba A**, Nishi K, Sato M, Ogura M, Sakuraya K, **Ito S**: Efficacy of rituximab and risk factors for poor prognosis in patients with childhood-onset steroid-resistant nephrotic syndrome: a multicenter study. *Pediatr Nephrol*, 39(10):2979-2988, 2024. doi:10.1007/s00467-024-06422-5.

Yoshihara F, Matsuzawa Y, Nakatsuka K, Kirigaya J, Takeuchi I, Kimura K, Konishi M, Tamura K, Fukui K, Tsukahara K, **Shimizu H**, Iwabuchi K, Yamada Y, Saka K, Sato Y, Ogawa M, Hayakawa K, Ohmagari N, Ikeda S, Akao M, Shimomura H, Kihara Y, Yoshimoto A, Morita M, Kumada N, Ogata S, Nishimura K, Arisato T, Matsuo M, Kishida M, Yasuda S, Ogawa H: Relationship between 2nd-generation angiotensin receptor blockers and the risk of hypotension in COVID-19 patients admitted to hospital. *Hypertens Res*, 47(7):1943-1951, 2024. doi:10.1038/s41440-024-01682-y.

Yoshitomi M, **Tsujimoto S**, **Ikeda J**, Kawai T, Ohki K, Hara Y, Yamato G, Tanoshima R, Tomizawa D, Shimada A, Horibe K, Adachi S, Taga T, Tawa A, Hayashi Y, **Ito S**, Shiba N: High DOCK1 expression identifies a distinct prognostic subgroup of pediatric acute myeloid leukemia: Results of the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group AML-05 trial. *Pediatr Blood Cancer*, 71(9):e31151, 2024. doi:10.1002/pbc.31151.

池川 環, 森川翔太郎, 長田華奈, 池田 梓, 辻 恵, 露崎 悠, 勝俣 薫, 藤田和俊, 後藤智英: 重症新生児仮死の既往から頭部 MRI を経時的に行ったことで診断に至った先天性核上性球麻痺の一例. こども医療センター医学誌, 53(2):75-78, 2024.

磯崎 淳: COVID19 が小児アレルギー疾患に与えた影響を考える～小児アレルギー診療, 研修への影響. 日本小児アレルギー学会誌, 38(1):71-75, 2024.

大砂光正, 佐々木康二, 大山宜孝, 磯崎 淳: けいれん重積による肺胞出血を伴った陰圧性肺水腫の9歳女児. 日本小児救急医学会雑誌, 23(3):335-338, 2024.

大濱永史, 市川和志: けいれん重積型(二相性)急性脳症を合併した新型コロナウイルス感染症の幼児例. 脳と発達, 56(1):63-65, 2024. doi:<https://doi.org/10.11251/ojjsen.56.63>.

木村康宏, 西澤英雄, 藤本潤一, 七尾大観, 大和田 玄, 金子尚樹: 妊娠関連非典型溶血性尿毒症症候群を疑いエクリズマブを投与した1症例. 日集中医誌, 31(2):137-140, 2024.

鈴木堯大, 東 聡美, 窪田祥平, 清水博之: *Enterococcus faecalis* と *Klebsiella pneumoniae* が検出された前腕骨の急性血行性骨髓炎の乳児. 小児科臨床, 77(3):379-384, 2024.

武石潤子, 野澤 智, 伊藤秀一: 施設入所により回避・制限性食物摂取症が改善した重度知的障害を伴う自閉スペクトラム症の一例. 横浜医学, 75(2):59-63, 2024.

田中文子, 種市尋宙, 小松充孝, 杉浦至郎, 西内律雄, 神菌淳司, 伊藤英介, 祝原賢幸, 江口真理子, 江原 朗, 大山昇一, 鈴木 博, 田代克弥, 田中藤樹, 土井庄三郎, 林 泉彦, 坂東由紀, 渡部誠一, 伊藤秀一, 竹島泰弘, 平山雅浩; 日本小児科学会小児医療提供体制委員会(2022年度～2023年度): COVID-19 流行前後における小児医療の変化に関する調査. 日本小児科学会雑誌, 128(12):1576-1584, 2024.

田中敏博, 荒木(福岡)かほる, 岡田雅彦, 金兼弘和, 多屋馨子, 塚原宏一, 長森恒久, 羽田敦子, 宮田一平, 山田全毅, 橋本浩一, 和田泰三, 片寄雅彦, 神野俊介, 亀井聡信, 清水博之, 新庄正宜, 西村直子, 森 雅亮: 委員会報告(研究委員会・薬事委員会)「感染症診断のための核酸検査に関するアンケート調査」. 小児感染免疫, 36(2):183-195, 2024.

種市尋宙, 大山昇一, 渡部誠一, 伊藤英介, 伊藤秀一, 祝原賢幸, 神菌淳司, 鎌崎穂高, 小松充孝, 在津正文, 杉浦至郎, 鈴木 博, 田中文子, 土井庄三郎, 西内律雄, 林 泉彦, 坂

東由紀, 江原 朗, 渕向 透, 竹島泰弘, 平山雅浩; 日本小児科学会小児医療提供体制委員会: 地域小児科センター機能に関する調査結果報告. 日本小児科学会雑誌, 128 (4): 644-658, 2024.

坪倉 慎, 金子尚樹, 松本修太郎, 福山龍太郎, 松永成生, 周藤 高, 小笹浩二, 咲間裕之, 菊池信行: 広範な小脳出血を契機に診断された第四脳室退形成性上衣腫の乳児例. 日本小児救急医学会雑誌, 23(3):368-371, 2024.

豊田秀実, 小川千登世, 荒川 歩, 山中純子, 望月慎史, 齋藤明子, 齋藤俊樹, 後藤裕明, 堀部敬三: 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する国際共同臨床試験(IntReALL SR 2010) への日本の参加経験. 臨床血液, 65(6):590-596, 2024.

中村春野, 谷村聡一郎, 志村紀彰, 佐近琢磨: 小児尿路感染症の超音波検査に関する後方視的検討〜小児科医群と超音波検査士群の差異について〜. 外来小児科, 27(2):108-113, 2024.

灘 大志, 内村 暢, 佐々木恵吾, 稲葉 彩, 大谷方子, 寺西淳一, 伊藤秀一: 末期腎不全の原因として C3 腎症が疑われ生体腎移植を施行したネパール人の 12 歳女児. 日本小児腎不全学会雑誌, 44: 117-121, 2024.

曳野圭子, 伊藤秀一, 寺尾知可史, 蒔田泰誠: リツキシマブによる重症低ガンマグロブリン血症・無顆粒球症に関連する遺伝子の探索と予測モデルの構築. 臨床薬理の進歩, 45: 101-108, 2024.

星 颯太, 志村紀彰, 鈴木純平, 市川和志, 福島亮介, 佐近琢磨, 望月 拓: 尿道カテーテル挿入時に尿道損傷を生じた臀部打撲の一例. 日本小児救急医学会雑誌, 23(3):339-343, 2024.

星出まどか, 是松聖悟, 伊藤 進, 下川尚子, 宮田理英, 井原 哲, 石井光子, 渡辺好宏, 福井美保, 里 龍晴, 守本倫子, 宮本雄策, 三牧正和, 山中 岳, 山内秀雄, 村松一洋, 竹島泰弘: 病院前治療における midazolam 口腔用液使用の有害事象に関する全国調査. 脳と発達, 56(2): 145-147, 2024. doi:<https://doi.org/10.11251/ojjsen.56.145>.

米井 萌, 大河内 慎, 竹部麻美子, 大谷春菜, 川上兼堂, 正本雅斗, 齋藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子: 解離性障害として経過観察中に脂肪肝と特異な食癖を指摘され, シトリン欠損症の診断に至った一例. 横浜医学, 75(2):49-53, 2024.

龍崎理誠, 富樫勇人, 内村 暢, 灘 大志, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一: Staphylococcus saprophyticus による急性巣状細菌性腎炎の 9 歳女児例. 小児科臨床, 77(1):61-65, 2024.

渡辺 衿, 西澤英雄, 藤本潤一, 七尾大観, 木村康宏, 大和田 玄, 金子尚樹: 急速発症型の気管支喘息増悪発作に VV-ECMO を導入した 1 例. 日集中医誌, 31(1):17-18, 2024.

渡辺理紗, 市川泰広, 五十嵐大二, 落合雄人, 河合 駿, 中野裕介, 合田真海, 町田大輔, 渡辺重朗: 侵襲性肺炎球菌感染症 22F による感染性心内膜炎、髄膜炎、多発性脳梗塞を発症し僧帽弁形成術を必要とした一例. 小児科臨床, 77(6):845-850, 2024.

【ガイドライン】

赤澤陽平，池川 健，石井陽一郎，井上奈緒，岩垣重紀，岡崎三枝子，小澤克典，加地 剛，川崎有希，漢 伸彦，北代祐三，上妻友隆，齋木宏文，眞田和哉，島袋篤哉，新谷光央，武井黄太，月原 悟，鳥越 司，永田 弾，百木恒太（訳），山本祐華，新居正基，瀧間浄宏（監訳）：胎児心エコー検査のガイドラインと推奨事項：米国心エコー図学会からの最新情報．米国心エコー図学，2024．https://www.jsfc.jp/wp-content/uploads/2025/02/ASEguideline_Fetal-Echocardiogram-1.pdf.

池上千晶：ヘニパウイルス感染症 診療指針 2024. 国立国際医療研究センター，2024.
https://dcc.ncgm.go.jp/prevention/topic/topic15/topic14_NiV_HeV.pdf.

石崎優子，井上久美子，永井 章，樋口隆弘，深井善光，藤井由里，淵野俊二，伊藤秀一，岡 孝和，神原雪子，中本達夫；般社団法人日本小児心身医学会くり返す子どもの痛みの理解と対応ワーキンググループ総論班：くり返す子どもの痛みの理解と対応ガイドライン（改訂第3版） 総論．子どもの心とからだ，33（3）：353-364，2024.

志賀健太郎（分担執筆），日本糖尿病学会・日本小児内分泌学会：Ⅲ．2型糖尿病 5．薬物療法．小児・思春期糖尿病コンセンサス・ガイドライン 2024，南江堂，105-111，2024.

根津敦夫，日本小児神経学会（監修），小児痙縮・ジストニア診療ガイドライン策定ワーキンググループ（編集）：小児痙縮・ジストニア診療ガイドライン 2023. 診断と治療社，2024.

森 雅亮，伊藤嘉規，池上千晶，清水博之；先天梅毒診療の手引き2023作成委員会（編）：先天梅毒診療の手引き2023（第2版）．先天梅毒診療の手引き2023作成委員会，2024.
https://www.jspid.jp/wp-content/uploads/2024/12/sentensei_baidoku_202412.pdf.

【総説】

池川 健：重症心奇形-正確な胎児診断と、それに基づくチーム治療-. 周産期医学, 54(13) : 580-585, 2024.

池田順治, 國本博義：急性骨髄性白血病における動物モデルを用いた病態解明. 血液内科, 89 (1) : 1-7, 2024.

伊藤秀一：【腎疾患の診断と治療最前線】血管系疾患における腎病変(診断と治療) 非典型溶血性尿毒症症候群. 腎と透析, 97:393-399, 2024. doi:10.24479/kd.00000016.

伊藤秀一：【大型血管炎】小児高安動脈炎. リウマチ科, 72(5):472-478, 2024.

伊藤秀一：【補体と腎疾患：温故知新】序文 第二の変革期を迎えた補体標的治療薬とその未来. 腎と透析, 97(1):7-10, 2024. doi:10.24479/kd.0000001383.

伊藤秀一：【小児疾患におけるアフェレシス-治療法の 1 つの選択肢としての血液浄化療法-】各疾患に対するアフェレシス 川崎病に対するアフェレシス. 小児科診療, 87(1):51-55, 2024. doi:10.34433/pp.0000000821.

大隅智之, 清水博之：【第 5 章】代表的な細菌と抗菌薬〈薬剤編〉8. グラム陽性菌のための薬剤. INFECTION CONTROL, 2024 夏季増刊 ビギナーさんのための AST 活動&抗菌薬適正使用ガイドブック : 204-210, 2024.

菊池信行：小児期発症 1 型糖尿病における移行期医療（トランジション）. DM Ensemble, 13(6):29-33, 2024.

清水博之：患者を診る臨床検査医を目指して. 日本臨床検査医学会誌, 72(4):310-312, 2024.

清水博之：【第 5 章】代表的な細菌と抗菌薬〈薬剤編〉13. ESBL・AmpC 産生菌のための薬剤. INFECTION CONTROL, 2024 夏季増刊 ビギナーさんのための AST 活動&抗菌薬適正使用ガイドブック : 241-248, 2024.

清水博之：Part1. 今話題の性感染症（梅毒，エムボックス）総説 4 先天梅毒の臨床と対応. Visual Dermatology, 23(9):837-840, 2024.

辻本信一：大規模解析データから見えてくる白血病の予後予測と治療層別化 小児急性骨髄性白血病のゲノム異常に基づいた予後予測の最近の展開. 日本小児血液・がん学会雑誌, 60 (5) : 326-331, 2024. doi:10.11412/jspho.60.326.

成相昭吉:60 歳を過ぎて引き受けた現在進行中の養育里親の経験から. チャイルドヘルス, 27(7) : 539-541, 2024.

成相昭吉:提言 すべての新生児・乳児を RS ウイルス感染症から守るために. 保育と保健ニュース, 106 : 2, 2024.

西村謙一：各科ローテ準備ガイド 小児科 ～子どもを知ろう！小児科医の視点を知ろう！～. レジデントノート, 26(3) : 511-513, 2024.

根津敦夫:重症心身障害者の成人期における上下肢ボツリヌス治療と医療連携. 日本重症心身障害学会誌, 49(1):127-130, 2024.

野澤 智：免疫アレルギー疾患における分子標的薬 抗 IL-6 受容体抗体(トシリズマブ). 日本小児アレルギー学会誌, 38 (2) : 204-210, 2024.

野澤 智：【小児臨床検査 2024】自己抗体検査 リウマチ性疾患に関連する自己抗体 全身性強皮症 抗 Scl-70 抗体, 抗セントロメア抗体, 抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体. 小児内科, 56 (増) : 369-372, 2024.

【著者・図書】

甲斐純夫, 加賀谷肇, 佐藤 透/監修, 田中文字子/編集代表: 実践 小児薬用量ガイド 第4版. じほう, 全476頁, 2024.

清水博之, 加藤元博(総編集): 第13章 感染症 ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱. 最新ガイドライン準拠 小児科 診断・治療指針 改訂第3版. 中山書店, 489-492, 2024.

西村謙一, 石川尊士: 日本リウマチ学会 若年性特発性関節炎 診療ガイドライン 2024-25年版, CQ7-1~CQ7-7. メディカルレビュー社, 176-190, 2024.

【監修】

伊藤秀一: リツキサンの治療を受け津患者さまとご家族へ 難治性ネフローゼ症候群 BOOK, 全薬工業, 2024.

伊藤秀一: よくわかる基礎知識 小児の慢性腎臓病 (CKD) 家族と考える慢性腎臓病サイト 腎援隊. ノバルティスファーマ株式会社, 2024.
<https://jinentai.com/ckd/tips/9.html>

【医師会会報】

志賀健太郎: 3) 糖尿病検診小委員会. 学校医部会レポート第39号, 横浜市医師会学校医部会, 2024.

【学会発表】

Fukuda S, Tanaka S, Kawakami C, Kobayashi T, **Ito S**: The Japan Environment and Children's Study Group: Association between maternal serum folic acid levels and onset of Kawasaki disease in offspring during infancy: The Japan Environment and Children's Study. Pediatric Academic Societies Meeting 2024, Toronto, 2024, 5.

Ikegawa T: Hypoplastic Left Heart. 4th Indonesia Fetal & Reproductive Medicine (WEB開催), 2024, 1.

Ikegawa T, Kawataki M, Inagaki Y, Toyoshima K, Ueda H: Prediction of symptoms and evaluation of surgical indications after birth based on tracheal morphology of double aortic arch. 34th ISOUG World Congress on Ultrasound in Obstetrics and Gynecology, Budapest, 2024, 10.

Ito S: Characteristics of patients with a HUS who discontinue dialysis after eculizumab treatment: sub-analysis of post-marketing surveillance in Japan. 61st European Renal Association (ERA) Congress, Stockholm, 2024, 5.

Kamigaki Y, Dougherty J, Waller AP, Rehaume LM, Biederman L, Kerlin BA, Smoyer WE: Voclosporin Ameliorates Proteinuria and Directly Protects Podocytes in a Model of Noninflammatory Glomerular Disease. ASN 2024 Kidney Week/ American Society of Nephrology Annual Meeting 2024, San Diego, 2024, 10.

Kasai T, Yamada M, Funaki T, Ogimi C: Outcome of Fungemia Caused by Yeast in Children: Significance of Breakthrough Fungemia and Source Identification. IDWeek 2024, Los Angeles, 2024, 10. Trainee Abstract Award, ID Week 2024.

Kawai S, Pak K, Iwamoto S, Kawakami C, Inuzuka R, Maeda J, Furutani Y, Kamisago M, Takatsuki S, Uyeda T, Yamagishi H, **Ito S**, Kobayashi T: Association between occurrence of congenital heart defects in offspring and maternal environmental factors in early pregnancy: the Japan Environment and Children's Study. Pediatric Academic Societies (PAS) Meeting 2024, Tronto, 2024, 5.

Kojima T, Saito J, Miyagi E, Ishikawa Y, **Yokoyama U**: Surgical Autografts are Successfully Derived from Umbilical Cord by Pressurization under Hypoxia. The 76th Annual congress of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology, Yokohama, 2024, 4.

Li SC, Vasquez-Canizares N, Pain CE, Twilt M, Adrovic A, Alrasheed A, Appenzeller S, Civino A, Cucueoglu MK, Dedeoglu F, Deepak S, Deng J, El-Ghoneimy DH, Garcia-Rodriguez F, Jelusic M, Jindal AK, Kasapcopur O, Katsicas MM, Khan A, Khubchandani R, Lu M, Lythgoe H, Marrani E, Martini G, Miyamae T, **Nozawa T**, Ozen S, Rutkowska-Sak L, Sampath S, Schonenberg-Meinema D, Song H, Sozeri B, Sumida H, Terreri M, Torok K, Willis E, Feldman B and Pediatric International Consortium for Scleroderma: Identifying specific criteria for juvenile systemic sclerosis. 31st European Paediatric Rheumatology Congress, Gothenburg, 2024, 9.

Li SC, Vasquez-Canizares N, Pain CE, Twilt M, Adrovic A, Alrasheed A, Appenzeller S, Civino A, Costa-Reis P, Cucueoglu MK, Dedeoglu F, Deepak S, Deng J, El-Ghoneimy DH, Foeldvari I, Garcia-Rodriguez F, Jelusic M, Jindal AK, Kasapcopur O, Katsicas MM, Khan A, Khubchandani R, Lu M, Lythgoe H, Marrani E, Martini G, Miyamae T, **Nozawa T**, Ozen S, Rutkowska-Sak L, Sampath S, Schonenberg-Meinema D, Song H, Sozeri B, Sumida H, Terreri M, Torok K, Turkmen S, Unal S, Yinv G, Willis E, Zheng R, Feldman B and Pediatric International Consortium for Scleroderma: I Identifying Specific Criteria for Juvenile Systemic Sclerosis: A comparison of adult and pediatric ratings. American College of Rheumatology Convergence 2024, Washington, D.C, 2024, 11.

Yanai T, Yoshida S, Kawakami K: Gastroenteritis hospitalizations over 18-year before and after rotavirus vaccine: descriptive study using a nationwide database. 16th Asian Conference on Pharmacoepidemiology, Tokyo, 2024. 10.

青木理加：多機関連携により学校における医療的ケアを導入出来た一例。第35回日本小児科医会総会フォーラム in 埼玉，大宮，2024，6。

飯尾知輝，谷川誠一，小林孝輔，塩谷裕美，原 良紀，只木弘美：家庭内除去後に閾値が上昇したピーナッツアレルギーの一例。第73回日本アレルギー学会学術大会，京都，2024，10。

五十嵐大二，河合 駿，中野裕介，落合雄人，市川泰広，渡辺重朗，合田真海，町田大輔：右鎖骨下動脈狭窄による機械性溶血性貧血に対し血管形成を行い一時的に貧血の改善を認

めた肺動脈閉鎖/心室中隔欠損症の1例. 第34回日本先天性心疾患インターベンション学会(JCIC)学術集会, 愛知, 2024, 1.

五十嵐大二, 河合 駿, 山本 嵩, 正本雅人, 中野裕介, 渡辺重朗: 高度房室ブロックをきたした急性心筋炎での一時的ペーシングの終了時期の検討. 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会, 福岡, 2024, 7.

池川 健, 金 基成, 川滝元良, 井上史也, 細川大地, 榊真一郎, 若宮卓也, 小野 晋, 柳 貞光, 上田秀明: 胎児肺MRIによる総肺静脈還流異常症患者の周産期予後推定. 日本胎児心臓病学会第30回学術集会, 東京, 2024, 2.

池川 健, 樽谷朋晃, 井上史也, 細川大地, 榊真一郎, 若宮卓也, 小野 晋, 柳 貞光, 上田秀明: 重複大動脈弓の気管形態に基づく出生後の症状予測と手術適応評価. 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会, 福岡, 2024, 7.

池川 環, 森川翔太郎, 長田華奈, 池田 梓, 露崎 悠, 辻 恵, 後藤知英: 終日TPPV管理を要する医療的ケア児の民間航空機搬送の一例. 第379回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 3.

池川 環, 森川翔太郎, 長田華奈, 池田 梓, 露崎 悠, 辻 恵, 山下純正, 後藤知英, 齋藤洋子, 黒澤健司, 相田典子, 田中水緒: 当院における乳児神経軸索ジストロフィーの検討. 第66回日本小児神経学会学術集会, 名古屋, 2024, 5.

池田 梓, 森川翔太郎, 池川 環, 長田華奈, 露崎 悠, 辻 恵, 永渕弘之, 黒澤健司, 後藤知英: 低用量ACTH療法に伴う日和見感染症の2例: レジオネラ肺炎とニューモシスチスカリニ肺炎. 第66回日本小児神経学会学術集会, 名古屋, 2024, 5.

池田順治, 國本博義, 齋藤祐介, 辻本信一, 黒沢貴之, 竹内正宣, 三浦彩華, 村上紘一, 加藤生真, 菱木貴子, 早川典代, 松浦友美, 多胡めぐみ, 横山明彦, 吉田健一, 富澤大輔, 宮野 悟, 多和昭雄, 足立壮一, 小川誠司, 林 泰秀, 柴 徳生, 田村智彦, 伊藤秀一, 中島秀明: 急性骨髄性白血病においてPRDM16による代謝リプログラミングはシタラビン耐性を誘導する. 第28回造血器腫瘍研究会, 滋賀, 2024, 1.

池田順治, 國本博義, 齋藤祐介, 辻本信一, 村上紘一, 加藤生真, 菱木貴子, 早川典代, 松浦友美, 多胡めぐみ, 横山明彦, 富澤大輔, 足立壮一, 柴 徳生, 田村智彦, 中島秀

明：急性骨髄性白血病において PRDM16 による代謝リプログラミングはシタラビン耐性を誘導する．第 83 回日本癌学会学術集会，福岡，2024，9.

池田順治，加登翔太，國本博義，齋藤祐介，赤羽弘資，三宅邦夫，匂坂麻衣子，伊藤美恵子，後藤裕明，奥野友介，中村 航，吉富誠弘，竹内正宣，柴 徳生，伊藤秀一，中島秀明，加藤元博，犬飼岳史，辻本信一：KMT2A::MLLT3 融合遺伝子、MECOM 高発現、KRAS 変異を有する高リスク AML 細胞株 YCU-AML2 の樹立．第 86 回日本血液学会学術集会，京都，2024，10.

池田順治，國本博義，齋藤祐介，辻本信一，村上紘一，加藤生真，菱木貴子，早川典代，松浦友美，多胡めぐみ，横山明彦，富澤大輔，足立壮一，柴 徳生，田村智彦，中島秀明：急性骨髄性白血病において PRDM16 による代謝リプログラミングはシタラビン耐性を誘導する．第 66 回日本小児血液・がん学会学術集会，京都，2024，12.

伊藤秀一，山城恒雄，藤崎晴彦，原 広司：小児救急医療の集約化政策と病院小児科の原価計算に関する調査研究．第 127 回日本小児科学会学術集会，福岡，2024，4.

伊藤秀一：川崎病の病態機序と病因論．第 127 回日本小児科学会学術集会，福岡，2024，4.

伊藤秀一：不明熱より奥深い不明痛 小児四肢疼痛の鑑別診断．第 127 回日本小児科学会学術集会，福岡，2024，4.

伊藤秀一：ここまでわかったネフローゼ症候群-小児特発性ネフローゼ症候群診療はどう変わる？ -小児特発性ネフローゼ症候群の治療の進歩. 第 59 回日本小児腎臓病学会学術集会，福岡，2024，6.

伊藤秀一：Keynote Lecture「川崎病の原因論 疫学研究の観点から」．第 44 回日本川崎病学会・学術集会（シンポジウム 3 病因論 座長/口演），東京，2024，10.

稲葉 彩，佐々木恵吾，灘 大志，内村 暢，小池淳樹，山藤陽子，伊藤秀一：糸球体係蹄への IgA 沈着が優位であった IgA 腎症の一例．第 89 回関東小児腎臓研究会，東京，2024，3.

稲葉 彩，内村 暢，灘 大志，佐々木恵吾，出来沙織，富樫勇人，伊藤秀一：当院で導入した腹膜透析患者の経過のまとめ．第 59 回日本小児腎臓病学会学術総会，福岡，2024，6.

伊波勇輝, 羽場崎由梨奈, 南澤有紀, 佐藤睦美, 本井宏尚, 渡辺好宏, 緒方英紀, 磯部紀子 : 治療に難渋した抗 Neurofascin(NF)155 抗体陽性ノドパチーの一例. 第 66 回日本小児神経学会学術集会, 名古屋, 2024, 5.

井上 華, 田代倫子, 横山詩子: Prostaglandin E2 receptor 4-mediated TRPV4 upregulation may be involved in RANTES production in abdominal aortic aneurysm. 第 101 回日本生理学会大会, 北九州, 2024, 3.

井上 華, 田代倫子, 横山詩子 : TRPV4 シグナルは腹部大動脈瘤における RANTES 産生を増強する. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, つくば, 2024, 6.

井上 華, 田代倫子, 帯包妃代, 長尾俊孝, 横山詩子 : 腹部大動脈瘤におけるメカニカルストレス感受性 TRPV4 チャンネルを介する炎症シグナル. CVMW2024 心血管代謝週間 (座長/審査員), 東京, 2024, 12.

市川泰広, 五十嵐大二, 落合雄介, 河合 駿, 中野裕介, 岩本眞理, 渡辺重朗 : 当院における先天性 QT 延長症候群における内服薬使用状況. 第 60 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 福岡, 2024, 7.

市川ゆうな, 川田智子, 齋藤記子, 治武節子, 池田知子, 仲田真弓, 荒井 博, 清水博之 : 当院における FilmArray®髄膜炎・脳炎パネルの使用経験と導入効果. 第 33 回神奈川県臨床検査医学会大会, 横浜, 2024, 6.

市川竜太 : 眼窩蜂窩織炎に膿瘍を合併し外科的介入を要した 2 例. 第 381 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 9.

上ノ町優志, 北尾牧子, 沼沢慶太, 南澤有紀, 佐々木恵吾, 伊波勇輝, 灘 大志, 本井宏尚, 内村 暢, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一 : 思春期に過度な炭水化物摂取から 2 型糖尿病を発症した非肥満の 1 女児例. 第 378 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 2.

上ノ町優志, 溝口のぞみ, 尾登 央, 吉井沙織, 中村久理子 : 診断に難渋した先天性十二指腸狭窄症の一例. 第 130 回横浜市東部小児科医会、第 18 回横浜市東部小児連携の会, 横浜, 2024, 7.

内村 暢，佐々木恵吾，灘 大志，稲葉 彩，寺西淳一，伊藤秀一：当院における小児腎移植 27 例の検討．第 59 回日本小児腎臓病学会学術総会，福岡，2024，6.

江並龍之介，山口ダロン溪，大河内 慎，竹部麻美子，松沼まり，米井 萌，栗田大輔，池川 環，小形亜也子，永嶋早織，齋藤千穂，鈴木徹臣，田中文子：胸痛から診断に至った巨赤芽急性貧血の一例．第381回日本小児科学会神奈川県地方会，横浜，2024，9.

大河内 慎，古川耕也，竹部麻美子，大谷春菜，米井 萌，川上兼堂，小形亜也子，正本雅人，永嶋早織，齋藤千穂，鈴木徹臣，田中文子：感染を契機に血小板減少を繰り返し診断に至った先天性TTPの一例．第378回日本小児科学会神奈川県地方会，横浜，2024，2.

大嶋 明，江波戸孝輔，祖父江瑤子，金子雅紀，松村壮史，鹿間芳明，今川智之：リツキシマブからベリムマブに変更した抗プロトンポンプ抗体陽性全身性エリテマトーデスの一例．第 33 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会，京都，2024，10.

大杉康司：思春期 1 型糖尿病患者における摂食障害の実態調査．第 58 回小児インスリン治療研究会，東京，2024，5.

大杉康司，原 洋祐，倉田研児，荒木まり子，松田史佳，前田泰宏，明利聡瑠，虫本雄一，松井克之，大津成之，菊池 透：思春期 1 型糖尿病患者における摂食障害の実態調査．第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会，東京，2024，5.

大杉康司，大嶋和海，尾上和子，伊藤 淳，松田 基，徳弘悦郎：摂食障害の心理特性を自記式質問紙で発見し早期介入により行動変容に至った 1 型糖尿病女児例．第 29 回日本小児・思春期糖尿病学会年次学術集会，福岡，2023，7.

大谷春菜，田中文子，大河内 慎，古川耕也，竹部麻美子，米井 萌，川上兼堂，小形亜也子，正本雅斗，永嶋早織，齋藤千穂，鈴木徹臣：遺伝子検査により診断に至った遺伝性球状赤血球症の1例．第379回日本小児科学会神奈川県地方会，横浜，2024，3.

大原夕季，松本由里香，藤田真弓，高増哲也，犬尾千聡：鶏卵摂取により症状誘発のある児の再導入時における少量 baked egg を用いた経口負荷試験の安全性に関する検討．第 61 回日本小児アレルギー学会学術大会，名古屋，2024，11.

岡 沙由稀, 黒滝大翼, 菊池健太, 中山俊宏, **横山詩子**: プロスタグランジン E2 受容体 EP4 発現におけるエピゲノム制御機構の検討. 第 60 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 福岡, 2024, 7.

岡 沙由稀, 黒滝大翼, 菊池健太, 中山俊宏, 内田敬子, **横山詩子**: 動脈管におけるプロスタグランジン E2 受容体 EP4 の発現および転写制御領域の同定. 第 23 回日本心臓血管発生研究会, 淡路, 2024, 12.

小山内達也, **西山邦幸**, 都野貴寛, 井上亮太, 寺内康夫, 白川 純: imeglimin と metformin の併用による膵 β 細胞生存への影響. 第 37 回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会, 弘前, 2024, 3.

長内未来, 中村 隆, 廣見太郎, **横山詩子**: 腹部大動脈瘤におけるプロスタグランジン E2-EP4 シグナルと TLR2 シグナルによる炎症増幅機構. 第 101 回日本生理学会大会, 北九州, 2024, 3.

小俣志織, **出崎 緑**: 急性副鼻腔炎に伴う眼窩内合併症により緊急手術が必要となった一例. 第 130 回横浜市東部小児科医会, 第 18 回横浜市東部小児連携の会, 横浜, 2024, 7.

海賀千波, 宮本 学, 吉原重美, **只木弘美**, 倉持 由, 松下天志, 柴田真由子, 香川貴宣, 坂間 隆, 高倉広充, 平井康太, 古屋博之, 新村文男, 加藤政彦, 望月博之: COVID-19 パンデミックに関連した気道感染症の減少が乳幼児の喘息発症に与える影響. 第 56 回日本小児呼吸器学会, 浦安, 2024, 9.

勝田友博, **清水博之**, **西村謙一**, 中村幸嗣, **今川智之**, 田中敏博, **伊藤秀一**: 神奈川県における HPV ワクチン接種状況の可視化活動. 第 98 回日本感染症学会学術講演会, 神戸, 2024, 6.

金滝総一郎, **灘 大志**, 坂田雄祐, 南澤有紀, 北尾牧子, 神垣 佑, 沼沢慶太, 内村 暢, 本井宏尚, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, **伊藤秀一**: 起因菌不明の肺膿瘍に対して複数の抗菌薬で改善した 21 トリソミーの 5 歳男児. 第 382 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 11.

金子尚樹, 赤坂 理, 岡 智, 伊藤 慧, 山川隼輝, 野崎万希子, 澤井啓介, 長嶋一樹, 湖山知篤, 佐藤亜美, 里村英章, 宮田晋太郎, 阿南英明: 気管切開後に気道閉塞をきたした挿管性肉芽腫例. 第 46 回日本呼吸療法医学会学術集会, 天童, 2024, 6.

神山裕二, 山西 純, 栗田大輔, 涌井直人, 村瀬絢子, 池田順治, 大原亜沙実, 服部成良, 辻本信一, 川原勇太, 西村謙一, 竹内正宣, 野澤 智, 佐藤雅子, 神谷尚宏, 柴 徳生, 今井耕輔, 金兼弘和, **伊藤秀一**: ニューモシスチス肺炎, 難治性下痢症を呈した MHC クラス II 欠損症の乳児例. 第 7 回日本免疫不全・自己炎症学会学術集会, 東京, 2024, 3.

川田智子, 中村友里乃, 大隅智之, 酒井政司, **清水博之**: 当院における腹膜透析関連腹膜炎の微生物学的特徴の解析. 第 98 回日本感染症学会学術講演会, 神戸, 2024, 6.

川名 宏, 川村智行, **菊池信行**, 広瀬正和, 布川香織, 小川洋平, 武者育麻, 柚山賀彦, 杉原茂孝, 菊池 透: 日本人小児・思春期 1 型糖尿病の出生体重は、Large for gestational age の頻度が高い. 第 40 回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会, 大宮, 2024, 11.

菊池 透, 山本幸代, 浦上達彦, 川村智行, **菊池信行**, 伊藤善也, 望月美恵, **志賀健太郎**, 深見真紀, 井原健二, 竹本幸司, 広瀬正和, 横田一郎, 杉原茂孝: 日本の小児思春期 1 型糖尿病のインスリン治療の現状 小児インスリン治療研究会第 5 コホート研究より. 第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会, 東京, 2024, 5.

菊池 透, 山本幸代, 浦上達彦, 川村智行, **菊池信行**, 伊藤善也, 望月美恵, **志賀健太郎**, 深見真紀, 井原健二, 竹本幸司, 広瀬正和, 横田一郎, 杉原茂孝: 思春期 1 型糖尿病は、前思春期 1 型糖尿病よりもインスリンポンプ、SAP の使用率が低い. 第 97 回日本内分泌学会学術総会, 横浜, 2024, 6.

菊池信行: 小児・思春期 1 型糖尿病のインスリン治療の進歩と移行期医療・プレコンセプションケア. 第 40 回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 (SPAD-JSDP 交換レクチャー), 大宮, 2024, 11.

菊地暢行, 中野晃太郎, 只木弘美, 朝長孝仁, 飯尾知輝, 原口翔太郎, 大濱永史, 谷川誠一, 小林孝輔, 高橋英里佳, 塩谷裕美, 原 良紀, 福山綾子, 鉾碕竜範: 治療経過中 refeeding 症候群を来した、自閉症スペクトラム症児の偏食による低栄養の 1 例. 第 379 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 3.

岸尾 望, **清水博之**: AmpC 型 β -lactamase 産生 *Escherichia coli* により治療に難渋した尿路感染症の新生児例. 第 56 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 長崎, 2024, 11.

北尾牧子, **志賀健太郎**, 沼沢慶太: MODY5 による肝機能異常を合併した女児の 1 例. 第 57 回日本小児内分泌学会学術集会, 横浜, 2024, 11.

栗田大輔, 鈴木徹臣, 田中文子: 遺伝性血小板増加症と考えられ, anagrelide による治療を行っている女兒の 1 例. 第 66 回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都, 2024, 12.

栗田大輔, 慶野 大, 君塚 優, 廣田恵璃, 浅井和暉, 林 亜揮子, 宮川直将, 横須賀とも子, 岩崎史記, 後藤裕明, 黒田友紀子, 永井淳一, 内山 徹, 石黒 精, 柳町昌克: 慢性 ITP としてフォロー中に AML を発症し診断した germline RUNX1 遺伝子変異症例. 第 66 回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都, 2024, 12.

釧持孝博, 二町尚樹, 安井正貴, 高橋篤史, 岩間一浩, 丸岩希望, 平田理智: 当院における在胎 22・23 週出生児の短期予後・長期予後. 第 60 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 大阪, 2024, 7.

小神真梨子, 加藤優子, 伊藤智子, 中村一文, 内田敬子, 井上 華, Roger R. Reddl, 阿部信二, 横山詩子: 特発性肺動脈性肺高血圧症における静水圧応答分子 Stanniocalcin 1 の肺動脈リモデリング抑制機序. CVMW2024 心血管代謝週間 (座長/審査員), 東京, 2024, 12.

小林柚月, 富樫勇人, 野原千広, 荒井梨沙, 待鳥 航, 大久保理沙, 秋山佳那子, 菅谷憲太, 佐藤美保: 1 か月健診での黄疸を契機に発見された遺伝性球状赤血球症の一例. 第 378 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 2.

小松彩子, 袋 幸平, 向所純子, 赤坂 理, 江中牧子, 清水博之: ネフローゼ症候群の加療中に内臓播種性水痘・带状疱疹ウイルス感染症となった 1 剖検例. 日本皮膚科学会東京地方会第 910 回例会 (WEB 開催), 2024, 2.

小松洋介, 中臣駿介, 山崎雅明, 中田紘乃, 遠坂 崇, 中村春野, 白井綾乃, 溝部万里奈, 小笹浩二, 咲間裕之, 菊池信行: 成長率低下を契機に紹介となり、Van Wyk-Grumbach 症候群と診断した 9 歳女兒例. 第 129 回横浜市東部小児科医会, 横浜, 2024, 3.

小松洋介, 菊池信行: 医療的ケア児支援法施行後に保育園入園をかなえた 1 型糖尿病児 2 例の経験とそこから見える課題. 第 29 回日本小児・思春期糖尿病学会年次学術集会, 福岡, 2024, 7.

小松洋介, 菊池信行: Van Wyk-Grumbach 症候群を発症した生来健康な 9 歳女兒例. 第 57 回日本小児内分泌学会学術集会, 横浜, 2024, 10.

小松洋介, 菊池信行: 医療的ケア児支援法施行後に保育園入園をかなえた 1 型糖尿病児 2 例の経験とそこから見える課題. 第 29 回神奈川小児糖尿病研究会, 横浜, 2024, 11.

小森智也, 吉富誠弘, 中村 航, 池田順治, 辻本信一, 竹内正宣, 林 泰秀, 伊藤秀一, 柴 徳生: 人工知能を用いた PRDM16 高発現再発難治急性骨髄性白血病に対する新規薬剤の探索. 第 127 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2024, 4.

湖山知篤, 赤坂 理, 野崎万希子, 澤井啓介, 長嶋一樹, 金子尚樹, 佐藤亜美, 里村英章, 宮田晋太郎, 阿南英明: インフルエンザ感染後にブドウ球菌による壊死性気管気管支炎を発症した 1 例. 第 51 回日本集中治療医学会学術集会, 札幌, 2024, 3.

紺野南帆, 遠坂 崇, 平井祐士, 川上兼堂, 糸永 育, 杉山弘樹, 出来沙織, 西澤 崇: M1UK 株侵襲性溶連菌感染症の 1 例と地域における頸部膿瘍症例の流行について. 第 381 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 9.

紺野南帆: M1UK 株侵襲性溶連菌感染症の 1 例と地域における頸部膿瘍症例の流行について. 第 83 回日本公衆衛生学会総会, 札幌, 2024, 10.

齊藤祐弥, 三橋優登, 光田慧吾, 石田径子, 篠原 潤, 木村康宏, 七尾大観, 藤本潤一, 西澤英雄, 入福浜由奈: 自然気道下で VV ECMO を導入した気管内腫瘍による重度気管狭窄の 1 例. 第 46 回日本呼吸療法医学会学術集会, 天童, 2024, 6.

齊藤祐弥, 岡野 弘, 石田径子, 篠原 潤, 七尾大観: 当院の VA ECMO 施行患者における下肢虚血のリスクの検討. 第 52 回日本救急医学会総会・学術集会, 仙台, 2024, 10.

坂田雄祐, 南澤有紀, 本井宏尚, 渡辺好宏: West 症候群を発症した母性 15q 重複症候群疑いの女児例. 第 66 回神奈川小児神経懇話会, 横浜, 2024, 12.

佐久間光志, 安井ひかり: 不随意運動を契機に診断された小舞蹈病 (Sydenham 舞蹈病) の一例. 第 130 回横浜市東部小児科医会、第 18 回横浜市東部小児連携の会, 横浜, 2024, 7.

櫻井 朋, 青木優一, 笹原弘道, 山本雅仁, 菅野 元, 大谷春菜, 津島悠花, 土居怜奈, 高島博太, 中澤枝里子, 江原貴子, 山本亜矢子, 栗生耕太: 父の渡航により家族内伝播した侵襲性髄膜炎菌感染症の乳児の一例. 第 382 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 11.

佐々木恵吾, 灘 大志, 内村 暢, 稲葉 彩, 伊藤秀一: 先天性水腎症の重症度とその予後からみる、軽症例のフォロー期間の検討. 第 59 回日本小児腎臓病学会学術総会, 福岡, 2024, 6.

佐藤亜美, 小沢一貴, 宮田晋太郎, 中嶋龍作, 里村英章, 湖山知篤, 金子尚樹, 長嶋一樹, 澤井啓介, 野崎万希子, 菊地 斉, 赤坂 理, 阿南英明: 敗血症性ショックを来した A 群化膿性レンサ球菌による中耳炎・乳様突起炎の一例. 第 52 回日本救急医学会総会・学術集会, 仙台, 2024, 10.

佐藤睦美, 佐々木征行, 馬場信平: 中心静脈ポートを造設し急性期管理を試みた小児交互性片麻痺の一例. 第 66 回日本小児神経学会学術集会, 名古屋, 2024, 5.

里村英章, 赤坂 理, 野崎万希子, 澤 啓介, 長嶋一樹, 金子尚樹, 湖山知篤, 佐藤亜美, 宮田晋太郎: 重症水痘ウイルス感染症で DIC に至り死亡退院となった 43 歳男性の一例. 第 51 回日本集中治療医学会学術集会, 札幌, 2024, 3.

里村英章, 赤坂 理, 野崎万希子, 菊地 斉, 澤井啓介, 長嶋一樹, 金子尚樹, 湖山知篤, 佐藤亜美, 中嶋龍作, 小沢一貴: コロナ禍を経て、薬物過量内服患者は本当に増えたのか. 第 52 回日本救急医学会総会・学術集会, 仙台, 2024, 10.

佐野貴子, 小松洋介, 伊藤 淳, 鈴木堯大, 鈴木理恵子, 渡邊寿美, 大屋日登美, 山田壮一, 多屋馨子: 神奈川県内の水痘入院例患者から検出された水痘帯状疱疹ウイルスのワクチン株と野生株の分別. 第 28 回日本ワクチン学会・第 65 回日本臨床ウイルス学会合同学術集会, 愛知, 2024, 10.

澤田侑理, 谷藤章太, 中村 隆, 内田敬子, 内藤祐次, 臼杵豊展, 柳沢裕美, 横山詩子: 弾性線維の形成機序を解明する in vitro 血管モデルの作製. 第 8 回エラスチン・関連分子研究会, 東京, 2024, 12.

志賀健太郎, 北尾牧子, 沼沢慶太: 学校検尿を契機に発見された耐糖能異常の特徴と転機について. 第 57 回日本小児内分泌学会学術集会, 横浜, 2024, 10.

清水博之, 勝田友博, 今川智之: パリビズマブ適正使用を目的とした RSV 入院患者の実態調査. 第 98 回日本感染症学会学術講演会, 神戸, 2024, 6.

清水博之:いきなり出生！墜落分娩に遭遇したら…(第42回症例から学ぶ感染症セミナー).
第73回日本感染症学会東日本地方会学術集会, 東京, 2024, 10.

清水博之:性感染症における母子感染. 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会, 長崎,
2024, 11.

清水博之, 川田智子, 森 雅亮:妊娠期梅毒患者および出生児の非トレポネーマ脂質抗体
(RPR)の比較. 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会, 長崎, 2024, 11. 第56回日
本小児感染症学会ポスター賞.

庄子皓太, 吉田健一, 伊与田真寿, 田中美羽, 石川百恵, 野邊道大, 河下咲紀, 南谷泰仁,
大和玄季, **辻本信一**, 柴 徳生, 林 泰秀, 白石友一, 宮野 悟, 清河信敬, 富澤大輔, 多
賀 崇, 多和昭雄, 滝田順子, 錦織桃子, 足立壯一, 小川誠司, 松尾英将:AMLにおけるFLT3-
ITDとCCND3変異の共存に伴う予後不良と薬剤耐性化. 第86回日本血液学会学術集会, 京
都, 2024, 10.

菅 あさ美, 坂田雄祐, 志村紀彰, **佐近琢磨**:鼠径部蜂窩織炎に続発した不全型川崎病の一
例. 第19回神奈川県川崎病研究会, 横浜, 2024, 2.

菅野 元, 佐々木恵吾, 灘 大志, 内村 暢, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一:急性腎
障害を合併し, 診断に苦慮した小児腫瘍形成性虫垂炎の1例. 第127回日本小児科学会学
術総会, 福岡, 2024, 4.

竹内正宣, 山西 純, 松澤 崇, 吉富誠弘, 池田順治, **辻本信一**, 柴 徳生, 鳥飼悠基, 新
本啓人, 原 正彦, 伊藤秀一:脳腫瘍治療後のADHD症状に対し仮想現実技術を用いたリハ
ビリテーション治療を実施した1例. 第66回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都, 2024,
12.

武下草生子, 藤井朋洋, 三田裕子, **喜多麻衣子**, 三浦直子, 湯口慈雨, 新井ひでえ, **根津敦
夫**:長期入所中の重症心身障害児・者におけるCOVID-19の臨床像の検討. 第66回日本小児
神経学会学術集会, 名古屋, 2024, 5.

竹部麻美子, 伊波勇輝, 南澤有紀, 本井宏尚, 渡辺好宏, 志賀健太郎, 伊藤秀一:Rituximab
による二次治療を要した腫瘍合併抗 N-methyl-D-aspartate (NMDA) 受容体脳炎の13歳女児
の1例. 第127回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2024, 4.

竹部麻美子, 大河内 慎, 古川耕也, 大谷春菜, 梶田由依, 米井 萌, 川上兼堂, 小形亜也子, 正本雅斗, 永嶋早織, 斎藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子: 低身長を契機に診断された萎縮性甲状腺炎に対し, Levothyroxine投与後に急激な骨成熟を呈した一例. 第380回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 6.

Tashiro M, Konishi M, **Yokoyama U**: Effects of sertraline on Mg²⁺ extrusion in rat ventricular myocytes. 第101回日本生理学会大会, 北九州, 2024, 3.

田中貴大, 佐藤 充, 都築海人, 山下 遼, 立石健祐, 末永 潤, **竹内正宣**, **辻本信一**, **池田順治**, 山本哲哉: 開頭術後の環軸椎回旋位固定となった小児2例. 第52回日本小児神経外科学会, 富山, 2024, 6.

田中 司, 佐々木恵吾, **灘 大志**, 内村 暢, 稲葉 彩, **伊藤秀一**: 無尿の急性腎後性腎不全にも関わらず、腎盂拡張が軽度であった急性胃腸炎に伴う両側尿路結石の一例. 第59回日本小児腎臓病学会学術総会, 福岡, 2024, 6.

谷川誠一, 窪田祥平, 塩谷裕美, 只木弘美: そばによる acute FPIES (Food Protein Induced Enterocolitis Syndrome) の4例. 第61回日本小児アレルギー学会学術集会, 名古屋, 2024, 11.

陳 榮斌, 高山俊男, 金子 真, **横山詩子**, 井上 華: 環境制御と連動可能な細胞観察用顕微鏡システムの開発. ロボティクス・メカトロニクス講演会 2024 in Utsunomiya, 宇都宮, 2024, 5.

出崎 緑, **東 聡美**, **安井ひかり**, 古川智士, 木村徳宏, **岩本眞理**, **伊藤秀一**: 異なる主訴で受診した運動後急性腎不全(ALPE)3例の検討. 第59回日本小児腎臓病学会学術集会, 福岡, 2024, 6.

中臣駿介, 伊波勇輝, 中村春野, 白井綾乃, 南澤有紀, 溝部万里奈, 本井宏尚, 渡辺好宏, **菊池信行**: 抗 NMDA 受容体抗体脳炎にオブソクローヌス・ミオクローヌス症候群を合併した1例. 第80回日本小児神経学会関東地方会, 千葉, 2024, 3.

長嶋一樹, 宮田晋太郎, 里村英章, 佐藤亜美, 湖山知篤, **金子尚樹**, 澤井啓介, 野崎万希子, 赤坂 理: 濃硝酸液による金属の酸洗処理後にメトヘモグロビン血症を来した1例. 第51回日本集中治療医学会学術集会, 札幌, 2024, 3.

中田紘乃, 中臣駿介, 山崎雅明, 小松洋介, 遠坂 崇, 中村春野, 白井綾乃, 溝部万里奈, 小笹浩二, 咲間裕之, 菅沼理江, 菊池信行: 繰り返す喘鳴を認め胃食道逆流症と診断された一例. 第 129 回横浜市東部小児科医会, 横浜, 2024, 3.

中田紘乃, 岡田祐里子, 翁 悠介, 平嶋秀伍, 中臣駿介, 羽場崎由梨奈, 小松洋介, 中村春野, 白井綾乃, 小笹浩二, 咲間裕之, 菊池信行: 食道病変を呈した薬剤性 Stevens-Johnson 症候群の一例. 第 382 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 11.

中原征大朗, 佐々木恵吾, 灘 大志, 内村 暢, 稲葉 彩, 伊藤秀一: 急性腎障害を合併した重症糖尿病性ケトアシドーシスの一例. 第 45 回日本小児体液研究会 (WEB 開催), 2024, 8.

中村 隆, 小嶋朋之, 日高祐子, 宮城悦子, 石川義弘, 横山詩子: Fabrication of high-strength multi-layered cell sheets derived from vascular smooth muscle cells using hydrostatic pressure under hypoxia. 第 101 回日本生理学会大会, 北九州, 2024, 3.

中村 隆, 野口貴史, 宮城悦子, 横山詩子: 低酸素下周期的加圧培養法によるヒト由来脱細胞化血管グラフトの開発. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, つくば, 2024, 6.

中山俊宏, 内藤祐次, 古田智子, 石道基典, 岩淵英人, 猪飼秋夫, 坂本喜三郎, 横山詩子: 先天性肺静脈狭窄症の内膜肥厚に関与する細胞外マトリックスの検討. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, つくば, 2024, 6.

中山俊宏, 内藤祐次, 古田智子, 石道基典, 岩淵英人, 猪飼秋夫, 坂本喜三郎, 横山詩子: 肺静脈狭窄における内膜肥厚に関与する細胞外マトリックスの検討. 第 60 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 福岡, 2024, 7.

中村友里乃, 大隅智之, 川田智子, 酒井政司, 清水博之: 抗菌薬アレルギーのラベリングをされた患者に対する抗菌薬選択の現状. 第 98 回日本感染症学会学術講演会, 神戸, 2024, 6.

灘 大志, 亀井宏一, 佐々木恵吾, 西 健太郎, 内村 暢, 佐藤 舞, 稲葉 彩, 小椋雅夫, 伊藤秀一: 初発時のステロイド連日投与中に完全寛解するも再度蛋白尿が出現した小児特発性ネフローゼ症候群の臨床的特徴. 第 59 回日本小児腎臓病学会学術総会, 福岡, 2024, 6.

成相昭吉, 原野真一, 森藤祐次, 堀江昭好, 長谷川有紀, 藤脇建久 : 5 類移行前後での気道感染症入院小児例における SARS-CoV-2 以外の呼吸器ウイルス検出状況. 第 127 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2024, 4.

成相昭吉, 石本千夏, 真玉千紘, 原野真一, 森藤祐次, 堀江昭好, 藤脇建久, 長谷川有紀 : COVID-19 新興後にマルチプレックス PCR により RSV が単独検出された下気道炎入院小児例における臨床像の変化. 第 119 回日本小児科学会島根地方会, 出雲, 2024, 6.

成相昭吉, 石本千夏, 真玉千尋, 原野真一, 小池大輔, 森藤祐次, 藤脇建久, 長谷川有紀 : 流行時期を予測できない場合の乳幼児 RSV 感染症重症化予防策の妥当性の検証. 第 111 回山陰小児科学会, 米子, 2024, 9.

成相昭吉 : COVID-19 新興後にマルチプレックス PCR により RSV が単独検出された下気道炎入院小児例における臨床像の変化. 第 28 回日本ワクチン学会・第 65 回日本臨床ウイルス学会合同学術集会, 愛知, 2024, 10.

成相昭吉, 堀江昭好 : COVID-19 新興後の非医薬的介入が小児皮膚軟部組織感染症に与えた影響. 第 56 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 長崎, 2024, 11.

成相昭吉, 堀江昭好 : 流行時期を予測できない場合の乳幼児 RSV 感染症重症化予防策の妥当性の検証. 第 56 回日本小児感染症学会総会・学術集会, 長崎, 2024, 11.

成相昭吉 : COVID-19 新興後の非医薬的介入が小児皮膚軟部組織感染症に与えた影響. 第 48 回山陰感染症化学療法研究会, 米子, 2024, 12.

成相昭吉, 川野早紀子, 中村実来, 小池大輔, 森藤祐次, 藤脇建久, 長谷川有紀 : COVID-19 新興後に RSV が単独または他の呼吸器ウイルスとともに検出された下気道炎入院小児例における臨床像の相違. 第 120 回日本小児科学会島根地方会, 出雲, 2024, 12.

西村謙一, 池ヶ谷武志, 河合 駿, 竹内正宣, 市川泰広, 伊藤秀一 : 小児科臨床実習における振り返りの実践報告と医学生に残った出来事. 第 127 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2024, 4.

西村謙一, 神山裕二, 大原亜沙実, 服部成良, 野澤 智, 伊藤秀一 : 経過中に仙腸関節炎, 潰瘍性大腸炎を合併した全身型若年性特発性関節炎. 第 68 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 神戸, 2024, 4.

西村謙一, 萬木文佳, 大原亜沙実, 服部成良, 野澤 智, 伊藤秀一: アニフロルマブを導入した小児期発症全身性エリテマトーデスの2例. 第33回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 京都, 2024, 10.

西山邦幸, 都野貴寛, 井上亮太, 寺内康夫, 白川 純: 内在性オピオイドである Prodynorphin の β 細胞増殖への影響. 第37回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会, 弘前, 2024, 3.

西山邦幸, 都野貴寛, 井上亮太, 寺内康夫, 白川 純: 内在性オピオイド前駆体 Prodynorphin の β 細胞増殖における役割. 第67回日本糖尿病学会年次学術集会, 東京, 2024, 5.

二町尚樹, 釧持孝博, 清宮優香, 待鳥 航, 安井正貴, 小原真奈, 平田理智: 動脈管結紮術後に横隔神経麻痺を合併し NAVA で長期管理を行った超低出生体重児. 第68回新生児成育医学会・学術集会, 松本, 2024, 11.

沼沢慶太, 北尾牧子, 志賀健太郎: 当院で診断された小児1型糖尿病148症例の年齢別のCペプチドの推移. 第57回日本小児内分泌学会学術集会, 横浜, 2024, 10.

根津敦夫: 重症心身障害児のACPと意思決定支援について 重症痙縮と骨格変形のACP. 第66回日本小児神経学会学術集会, 名古屋, 2024, 5.

根津敦夫: 小児痙縮ジストニア診療ガイドライン2023に基づく治療アルゴリズム. 第66回日本小児神経学会学術集会, 名古屋, 2024, 5.

根津敦夫: 脳性麻痺のQOLを上げる. 第11回日本ボツリヌス治療学会学術集会, 東京, 2024, 9.

根津敦夫: 重症心身障害者の成人期における上下肢ボツリヌス治療と医療連携. 第49回日本重症心身障害学会学術集会, 神戸, 2024, 11.

野澤 智: 小児期発症全身性エリテマトーデスの診療指針 海外の現状. 第68回日本リウマチ学会総会・学術集会(シンポジウム2「小児リウマチ性疾患の診療指針update2024～国際比較～」), 神戸, 2024, 4.

野澤 智：小児リウマチ性疾患に潜む原発性免疫不全症・免疫異常症～疑うタイミングはいつ？～. 第 52 回横浜リウマチフォーラム, 横浜, 2024, 9.

野澤 智：製剤研修会 小児リウマチ性疾患における IL-6 阻害薬(トシリズマブ)の使用について. 第 33 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 京都, 2024, 10.

野原千広, 松井洋史, 渡辺理紗, 龍崎理誠, 田角悠子, 富樫勇人, 菅谷憲太, 佐藤美保：K1 抗原陽性大腸菌性髄膜炎の乳児例. 第 55 回横須賀・三浦小児科医学会学術講演会, 横須賀, 2024, 7.

羽場崎由梨奈, 南澤有紀, 伊波勇輝, 本井宏尚, 渡辺好宏, 佐々木恵吾, 灘 大志, 北尾牧子, 沼沢慶太, 内村 暢, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一：発症初期から ASL で脳血流低下を認めたけいれん重積型(二相性)急性脳症の一例. 第 380 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 6.

林 亜揮子, 浜之上 聡, 浅井和暉, 廣瀬綾菜, 宮川直将, 慶野 大, 横須賀とも子, 岩崎史記, 西川智子, 黒田友紀子, 田中祐吉, 田中水緒, 後藤裕明, 柳町昌克：Current practice and clinical issues of comprehensive genomic profiling for pediatric cancer at our hospital. 第 66 回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都, 2024, 12.

平井祐士, 糸永 育, 西村直人, 杉山弘樹, 西澤 崇：2023 年感染症流行下に当院で検出された病原体とその特徴の検討. 第 127 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2024, 4.

福田清香, 田中司朗, 川上ちひろ, 小林 徹, 伊藤秀一；エコチル調査グループ：妊娠中の母親の葉酸血中濃度と乳児期の川崎病発症との関連：エコチル調査より. 第 44 回日本川崎病学会・学術集会, 東京, 2024, 10.

藤田真弓, 松本由里香, 高増哲也, 犬尾千聡：IgE 依存性と非 IgE 依存性鶏卵アレルギー小児に対する Baked Egg による経口負荷試験の比較検討. 第 73 回日本アレルギー学会学術大会, 京都, 2024, 10.

藤田真弓, 松本由里香, 大原夕貴, 高増哲也, 犬尾千聡：間接的アレルギー曝露によりアレルギー症状が出現したクルミアレルギーの 1 例. 第 61 回日本小児アレルギー学会学術大会, 愛知, 2024, 11.

前川仁孝, 坂田雄祐, 南澤有紀, 北尾牧子, 灘 大志, 神垣 佑, 沼沢慶太, 本井宏尚, 内村 暢, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一: 乳児一過性低ガンマグロブリン血症を呈し、治療に難渋した臍胸の 1 例. 第 381 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 9.

正本雅斗, 中野裕介, 大河内 慎, 山本 嵩, 五十嵐大二, 河合 駿, 渡辺重朗, 中島理恵, 森 佳織, 立石 実, 齋藤 綾: TPVI 時代の夜明けに Surgical PVR を振り返る. 第 20 回神奈川小児循環器研究会, 横浜, 2024, 10.

町田裕之, 田中 司, 朱田貴美, 磯崎 淳, 稲葉 彩, 伊藤秀一, 野津寛大: 学校検尿で Dent 病が疑われた中学生男児の 1 例. 第 59 回日本小児腎臓病学会学術総会, 福岡, 2024, 6.

松井克之, 根本千裕, 田川晃司, 長井静世, 松田史佳, 大杉康司, 前田泰宏, 倉田研児, 糸永知代, 阿部裕樹, 宮河真一郎, 荒木まり子, 酢谷明人, 虫本雄一, 中村千鶴子, 宇藤山麻衣子, 濱田淳平, 岡島道子, 小山さとみ, 神野和彦, 川村智行, 浦上達彦, 大津成之, 菊池透: 1 型糖尿病とその治療が小児の生活に与える影響 親子で異なる認識. 第 67 回日本糖尿病学会年次学術集会, 東京, 2024, 5.

松沼まり, 南澤有紀, 佐々木恵吾, 伊波勇輝, 灘 大志, 北尾牧子, 沼沢慶太, 内村 暢, 本井宏尚, 渡辺好宏, 稲葉 彩, 志賀健太郎, 伊藤秀一: 介助歩行が可能で横紋筋融解症を契機に診断にいたった福山型先天性筋ジストロフィーの 1 例. 第 379 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 3.

松村壮史, 高橋英彦, 慶野 大, 北河徳彦: 小児のオンコネフロロジー ー肝芽腫の長期腎予後についてー. 第 67 回日本腎臓学会学術集会, 横浜, 2024, 6.

松本 俊, 平井祐士, 糸永 育, 西村直人, 杉山弘樹, 西澤 崇: 2023 年の当院の呼吸器感染症の入院症例における ABPC 耐性 H. influenzae の増加. 第 127 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2024, 4.

松本由里香, 藤田真弓, 高増哲也, 犬尾千聡: フェノバルビタールとアモキシシリンによって発症した DRESS の 1 歳女児例. 第 73 回日本アレルギー学会学術大会, 京都, 2024, 10.

松本由里香, 塚原 歩, 藤田真弓, 高増哲也, 犬尾千聡: 乳アレルギーの 2 歳未満と 2 歳以上に対する milk ladder を用いる食事指導の有効性の比較検討. 第 61 回日本小児アレルギー

一学会学術大会，愛知，2024，11.

三浦直子：身体症状の改善に“神田橋処方”と慢性痛に対する認知行動療法が有効であった神経発達症思春期女児例．第131回日本小児精神神経学会，つくば，2024，6.

三橋 龍，中村 隆，横山詩子：プロスタグランジン E2 受容体 EP4 と Toll-like receptor 2 シグナルによる IL-6 の相乗的増幅機構の解明．第101回日本生理学会大会，北九州，2024，3.

南澤有紀，伊波勇輝，本井宏尚，渡辺好宏：痙攣重積型（二相性）急性脳症に対する thyrotropin-releasing hormone 療法の有効性に関する検討．第66回日本小児神経学会学術集会，名古屋，2024，5.

峯 直也，神垣 佑，内村 暢，灘 大志，稲葉 彩，寺西淳一，伊藤秀一：乳児期に尿管皮膚瘻造設を施行した巨大尿管の2例．第45回日本小児腎不全学会学術集会，東京，2024，12.

村瀬絢子，佐藤雅子，大宅 喬，内村 暢，稲葉 彩，伊藤秀一：リツキシマブ投与後重症低ガンマグロブリン血症患者における，リンパ球サブセット解析．第59回日本小児腎臓病学会学術集会，福岡，2024，6.

村瀬絢子，佐藤雅子，大宅 喬，伊藤秀一：川崎病患者における，補体成分C5aと好中球の活性化に関する検討．第44回日本川崎病学会・学術集会，東京，2024，10.

Motoi H, Minamisawa Y, Inami Y, Hamanaka K, Miyatake S, Matsumoto N, Watanabe Y: A case of infantile epileptic spasms syndrome with a DYNC1H1 variant responsive to vigabatrin. The 66th Annual Meeting of the Japanese Society of Child Neurology, Nagoya, 2024, 5.

Motoi H, Minamisawa Y, Inami Y, Watanabe Y: Analysis of therapeutic effectiveness of fenfluramine for Dravet syndrome in Children. The 57th Annual Congress of the Japan Epilepsy Society, Fukuoka, 2024, 9.

安井正貴，釧持孝博，二町尚樹，高橋篤史，小原真奈，岩間一浩，平田理智：超低出生体重児の乳児血管腫に対して早期からのプロプラノロール投与が有効だった2例．第60回日本周産期・新生児医学会学術集会，大阪，2024，7.

矢内貴憲, 吉田都美, 竹内正人, 川上ちひろ, 川上浩司, 伊藤秀一: 母体血中重金属濃度と川崎病との関連性: エコチル調査. 第 44 回日本川崎病学会・学術集会, 東京, 2024, 10. 第 44 回日本川崎病学会・学術集会 優秀演題賞.

柳町昌克, 慶野 大, 飯塚敦広, 栗田大輔, 廣田恵璃, 河内彰人, 君塚 優, 涌井直人, 浅井和暉, 林 亜揮子, 宮川直将, 横須賀とも子, 岩崎史記, 後藤裕明, 成戸卓也, 岩野麗子: 小児 FLT3 変異陽性 AML に対する移植後 gilteritinib 維持療法と gilteritinib 血中濃度. 第 86 回日本血液学会学術集会, 京都, 2024, 10.

山口ダロン溪, 大河内 慎, 竹部麻美子, 江並龍之介, 松沼まり, 米井 萌, 栗田大輔, 池川 環, 小形亜也子, 永嶋早織, 斉藤千穂, 鈴木徹臣, 田中文子: 非PCV13 血清型による肺炎球菌性髄膜炎を発症した一例. 第382回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 11.

山崎麻衣, 西村直人, 平井祐士, 糸永 育, 松本 峻, 杉山弘樹, 出来沙織, 西澤 崇: 低月齢発熱における FilmArray[®] 髄膜炎・脳炎パネルの有用性の検討. 第 378 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 2.

山崎雅明, 中臣駿介, 江波龍之介, 中村春野, 小松洋介, 白井綾乃, 溝部万里奈, 小笹浩二, 咲間裕之, 菊池信行: 重症アトピー性皮膚炎に伴う低蛋白血症と体重減少を認めた 1 例. 第 379 回日本小児科学会神奈川県地方会, 横浜, 2024, 3.

山下 遼, 末永 潤, 園田 真樹, 立石健祐, 秋本大輔, 中居康展, 塩田雅朗, 岡 千紘, 山西 純, 辻本信一, 竹内正宣, 高瀬宙樹, 山中正二, 佐藤 充, 山本哲哉: ETMR 様の組織像を呈した幼児脈絡叢乳頭腫瘍の 1 例. 第 52 回日本小児神経外科学会, 富山, 2024, 6.

山田幸子, 元木夏実, 田邊さとえ, 菅原緒美, 山上祐次, 大崎逸朗, 室谷浩二, 菊池信行, 平原史樹, 古井民一郎: 神奈川県における拡大新生児マススクリーニング検査の実施報告. 第 51 回日本マススクリーニング学会学術集会, 熊本, 2024, 8.

山西 純, 神山裕二, 村瀬絢子, 池田順治, 涌井直人, 柴 徳生, 竹内正宣, 神谷尚宏, 金兼弘和, 辻本信一: 同種造血細胞移植により HLA-DR 発現および T cell maturation を認めた MHC クラス II 欠損症の一例. 第 86 回日本血液学会学術集会, 京都, 2024, 10.

山西 純, 松澤 崇, 吉富誠弘, 池田順治, 竹内正宣, 辻本信一: みぎ胸膜に巨大腫瘍として再発をきたした粘液多形型脂肪肉腫の一例. 第 66 回日本小児血液・がん学会学術集会, 京都, 2024, 12.

山本 嵩, 河合 駿, 五十嵐大二, 正本雅斗, 中野裕介, 渡辺重朗, 細田順也: 創部離開のため S-ICD の再植え込みを必要とした肥大型心筋症の 9 歳女児. 第 28 回日本小児心電学会学術集会, 津, 2024, 11.

萬木文佳, 高瀬宙希, 大原亜沙実, 服部成良, 西村謙一, 野澤 智, 山中正二, 藤井誠志, 伊藤秀一: 当院で経験した若年性特発性関節炎の 3 例まとめ. 第 33 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 京都, 2024, 10.

横須賀とも子, 廣田恵璃, 廣瀬綾菜, 飯塚敦広, 松本尚也, 慶野 大, 宮川直将, 岩崎史記, 柴 徳生, 匂坂麻衣子, 伊藤美恵子, 後藤裕明, 柳町昌克: ダウン症候群に合併した ALL における、CAR-T 治療前後での薬剤感受性の変化. 第 85 回日本血液学会学術集会, 東京, 2023, 10.

吉富誠弘, 吉田健一, 中村 航, 池田順治, 辻本信一, 竹内正宣, 原 勇介, 大和玄季, 齋藤祐介, 富澤大輔, 多賀 崇, 足立壮一, 小川誠司, 林 泰秀, 柴 徳生: 小児 AML において PRDM16 遺伝子の切断が PRDM16 高発現を誘導し, 再発難治に関与する. 第 127 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2024, 4.

龍崎理誠, 岩本眞理, 東 靖子, 梅田聡太, 荒井梨沙, 石丸 愛, 太田慧子, 船生晴香, 窪田祥平, 東 聡美, 福田清香, 村瀬絢子, 西村謙一, 片岡俊朗, 山中正二, 伊藤秀一: COVID-19 感染に伴うサイトカインストームによる劇症型心筋炎で急死した 5 歳男児. 第 127 回日本小児科学会学術集会, 福岡, 2024, 4.

若宮卓也, 井上史也, 細川大地, 樽谷朋晃, 榊慎一郎, 池川 健, 小野 晋, 柳 貞光, 上田秀明: MAPCA の肺高血圧の特徴. 第 60 回日本小児循環器学会総会・学術集会, 福岡, 2024, 7.

脇田陽平, 枝松清隆, 清水博之: 免疫グロブリンや RF で希釈直線性が得られず、精査中に IgM 型 RF と HAGA を検出した症例. 日本医療検査科学会第 56 回大会, 横浜, 2024, 10.

渡部春奈, 岩住衣里子, 古家 正, 橋場容子, 中村陽一, 磯崎 淳, 宮崎泰成: 当センターにおける約 10 年間の食物アレルギー症例の検討. 第 73 回日本アレルギー学会学術大会, 京

都, 2024, 10.

渡辺好宏, 南澤有紀, 伊波勇輝, 本井宏尚: 急性脳症後の脳萎縮に伴い硬膜下血腫を発症した2例. 第66回日本小児神経学会学術集会, 名古屋, 2024, 5.

渡辺理紗, 市川泰広, 五十嵐大二, 落合雄人, 河合 駿, 中野裕介, 合田真海, 町田大輔, 渡辺重朗: 侵襲性肺炎球菌感染症 22F による感染性心内膜炎、髄膜炎、多発性脳梗塞を発症し僧帽弁形成術を必要とした一例. 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会, 福岡, 2024, 7.

【研究助成金】

伊藤秀一（代）：感染症の病原体を保有していないことの確認方法の確立及び志賀毒素産生性大腸菌による溶血性尿毒証症候群に関するガイドライン整備のための研究．厚労省科学研究費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業（2023 年度 - 2025 年度），227 万円．

伊藤秀一（分）：自己炎症性疾患とその類縁疾患における、移行期医療を含めた診療体制整備、患者登録推進、全国疫学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究．厚労省科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患政策研究事業（2023 年度 - 2025 年度），60 万円．

伊藤秀一（分）：小児腎領域の希少・難治性疾患群の全国診療・研究体制の構築．厚労省科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 難治性疾患政策研究（2023 年度 - 2025 年度），25 万円．

伊藤秀一（分）：思春期・若年成人（AYA 世代）患者におけるリウマチ医療体制に資する研究．厚労省科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 免疫・アレルギー疾患政策研究事業，8 万円．

伊藤秀一（分）：転写因子 IRF5 に注目した全身性エリテマトーデスの新しい病態解明．国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）難治性疾患実用化研究事業（2023 年度 - 2025 年度），50 万円．

伊藤秀一（分）：子供の研究と環境に関する全国調査（エコチル）．環境省（エコチル）（2017 年度 - 2026 年度），8,891.4 万円

伊藤秀一（代）：リツキシマブによる重症低ガンマグロブリン血症・無顆粒球症に関連する遺伝子の探索．全薬工業株式会社 受託研究費（2022 年度 - 2026 年度），207.9 万円．

伊藤秀一（分）：TNF α 阻害薬使用のリウマチ疾患患者における弱毒生ワクチン接種．国立研究開発法人国立成育医療研究センター 成育医療研究開発事業，61 万円．

伊藤秀一（代）：全身型若年性特発性関節炎（JIA）の疾患感受性遺伝子の同定．（奨学寄付金）（2023 年度 - 2027 年度），70 万円．

伊藤秀一（代）：ウェアラブル黄疸計の臨床評価。共同研究費（アトムメディカル株式会社）（2024年12月9日 - 2025年6月30日），125万円。

伊藤秀一（代）：難治性小児疾患の診断・治療の向上に向けた研究（奨学寄附金）（2024年度 - 2028年度），90万円。

伊藤秀一（代）：寛解期あるいは低疾患活動期の全身性エリテマトーデスにおける1型インターフェロン関連遺伝子の発現亢進を示唆する臨床検査マーカーの探索（奨学寄附金）（2024年度 - 2028年度），9万円。

伊藤秀一（代）：ロングリードシーケンサーによる川崎病患者の腸内微生物の網羅的解析（奨学寄附金）（2024年度 - 2028年度），270万円。

伊藤秀一（代）：アニフロルマブ（治験等に関わる研究費）（2024年度 - 2030年度），44,000円。

伊藤秀一（代）：Voclosporin.（治験等に関わる研究費）（2024年度 - 2025年度），22,000円

鈿持孝博（代）：未熟児動脈管閉鎖に適正な酸素分圧の検討。科学研究費助成事業 若手研究（2021年度 - 2025年度），468万円。

後藤裕明（代）：疾患モデルライブラリーを活用した悪性ラブドイド腫瘍の病態解析。科学研究費助成事業 基盤研究(C)（2022年度 - 2025年度），416万円。

後藤裕明（分）：小児・AYA世代がん白血病バイオバンクを活用した難治性白血病の治療開発。科学研究費助成事業 基盤研究(C)（2023年度 - 2025年度），16万円。

後藤裕明（分）：小児希少がんにおけるユビキチン/プロテアソーム系の総合的理解に基づく腫瘍制御。科学研究費助成事業 基盤研究(C)（2024年度 - 2026年度），5万円。

後藤裕明（代）：再発・難治 ALL 細胞における blinatumomab 耐性機序の解明。かながわ県立病院がん基金がん研究助成，50万円。

後藤裕明（分）：小児がんに対する医師主導治験基盤構築（2023-A-11）。国立がん研究センター研究開発費。

只木弘美（分）：スギ花粉によるアレルギー性鼻炎に対するスギ舌下免疫療法長期使用後の患者に対する間欠投与のランダム化比較試験(R6-EBM(免アレ)-01)．国立病院機構 NHO ネットワーク研究, 10 万円.

只木弘美（分）：低年齢の通年性アレルギー性鼻炎に対するダニ舌下免疫療法のランダム化比較による有効性の検討(R2-NHO(免アレ)-02)．国立病院機構 NHO ネットワーク研究, 10 万円.

只木弘美（分）：周産期のシンバイオティクス投与による食物アレルギー発症予防効果の多施設共同二重盲検ランダム化比較試験による検証(R4-NHO(小産)-01)．国立病院機構 NHO ネットワーク研究, 56 万円.

只木弘美（分）：クルミ・カシューナッツアレルギー発症に影響する宿主因子と環境因子の解明/多施設共同前向きコホート研究（R5-NHO(免アレ)-01)．国立病院機構 NHO ネットワーク研究, 40 万円.

只木弘美（分）：重症・難治性アレルギー疾患レジストリの構築および病態解明．国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）免疫アレルギー疾患実用化研究事業.

辻本信一（代）：PRDM16 高発現難治小児 AML に対するエピゲノム解析に基づいた新規治療法の開発．科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究（2021 年度 - 2024 年度）, 100 万円.

辻本信一（代）：急性骨髄性白血病に対する L-asparaginase を基軸とした新規治療戦略．科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）（2024 年度 - 2026 年度）, 120 万円.

辻本信一（分）：小児急性骨髄性白血病の標準的治療法の確立のための臨床研究．革新的がん医療実用化研究事業（AMED）（2023 年度 - 2025 年度）, 100 万円.

辻本信一（代）：小児 AML, myelodysplasia related 及び AML, not otherwise specified におけるゲノム異常・エピゲノム異常の統合解析による病態解明と予後予測モデルの構築．公益財団法人武田振興財団研究助成金（2024 年度 - 2029 年度）, 180 万円.

辻本信一（代）：小児 AML, myelodysplasia-related(AML-MR) 及び AML, not otherwise specified(AML, NOS)の病態解明と予後予測法の開発．公益財団法人ゴールドリボン・ネッ

トワーク研究助成金, 40 万円.

辻本信一 (代) : DOCK1 高発現難治小児急性骨髄性白血病の難治化メカニズムの解明と治療開発. 特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ, 40 万円.

辻本信一 (代) : 移植登録一元管理プログラムおよび二次調査を用いた小児造血細胞移植における類洞閉塞症候群の予防・診断・治療に関する後方視的解析. 国立研究開発法人国立成育医療研究センター 成育医療研究開発費 (2024 年度 - 2026 年度), 76,923 円.

二町尚樹 (代) : 出生時ステロイド補充療法による超早産児の脳室内出血発症予防効果の解析. 横浜市立大学小児科学教室第 5 回令和六年度同門会学術基金研究助成 (2024 年度 - 2025 年度), 20 万円.

藤田真弓 (代) : ピーナツ経口免疫療法におけるシェアードディシジョンモデルの導入. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) (2022 年度 - 2025 年度), 403 万円.

矢内貴憲 (代) : レセプトデータで構築した母子連接コホートを用いた疫学研究. 令和 6 年度京都大学大学院医学研究科新規採用若手研究者支援経費, 45 万円.

矢内貴憲 (代) : 大規模データベースを用いた自閉スペクトラム症の発症リスク因子の解明. 公益財団法人発達科学研究教育センター 学術研究助成 (2024 年度-2025 年度), 50 万円.

矢内貴憲 (代) : ナショナルデータベースを利用した日本全体のアレルギー診療実態の解明. 2024 年度科学研究費助成事業 (科研費) 研究活動スタート支援 (2024 年度-2025 年度), 273 万円.

横須賀とも子 : 令和 5 年度かながわ県立病院がん基金研究助成, 24.9 万円.

横山詩子 (代) : ファロー四徴症に対する自己血管新生を誘導するヒト由来脱細胞化血管グラフトの開発. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 難治性疾患実用化研究事業 (2024 年度 - 2026 年度), 1,600 万円.

横山詩子 (代) : 血管-神経連関を基軸とする動脈管分化機構の解明. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (B) (2024 年度 - 2027 年度), 330 万円.

横山詩子(代)：三次元血管モデルを用いた弾性線維の de novo 形成機構の解明と再生法の開発. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 挑戦的研究 萌芽 (2023 年度 - 2025 年度), 150 万円.

横山詩子(代)：血管病変の指標となるバイオマーカーに関する研究. 共同研究費(東ソー株式会社) (2022 年度 - 2031 年度).

横山詩子(代)：周期的加圧培養法による再生医療用組織の開発. 共同研究費(椿本チエイン株式会社) (2022 年度 - 2025 年度).

横山詩子(代)：「周期的静水压印加による細胞動態の解析」に関する研究. 共同研究費(株式会社コガネイ) (2022 年度 - 2025 年度), 83 万円.

横山詩子(分)：メカノセンシング機構の破綻による大動脈疾患の病態解明とバイオマーカー診断法の開発. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業 (2023 年度 - 2025 年度), 300 万円.

横山詩子(分)：One Hour Cell Exercise の細胞接触面積激増現象の力学・細胞生理学視点からの解明. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(B) (2023 年度 - 2026 年度), 30 万円.

横山詩子(分)：プロスタグランディン E 受容体 EP4 に着目した肺静脈リモデリングの分子機序の解明. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) (2021 年度 - 2024 年度).

横山詩子(分)：高圧力に着目した肺動脈性肺高血圧症病態形成における Stanniocalcin1 の役割. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) (2023 年度 - 2025 年度), 15 万円.

横山詩子(分)：ステント再狭窄における炎症と糖タンパク質 Fibulin-1 の動的機能と役割. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) (2024 年度 - 2026 年度), 20 万円.

若宮卓也 (代)：小児における肺血管拡張剤の薬物動態に関する検討. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究 (2024 年度 - 2026 年度), 120 万円.

若宮卓也（分），**池川 健**（分）：乳幼児肺動脈性高血圧症治療の TDM のための薬剤横断的薬効モデルの構築. 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）（2022 年度 - 2025 年度），130 万円.

渡辺重朗（分）：小児から成人期発症遺伝性 QT 延長症候群とその類縁疾患の突然死予防に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業（2023 年度 - 2024 年度），10 万円.

【学会等以外の各種講演】

Ito S: Japanese Perspective of Diagnosis and Treatment of aHUS. Complement Masters in Nephrology (Alexion Pharmaceuticals, Inc.) , Warsaw, 2024,6.

青木理加: 学校における摂食障害の児童への対応と起立性調節障害の児童への生活習慣の立て直し支援について. 第 2 回足柄上郡小学校教育研究会養護教諭部会, 松田, 2024, 8.

青木理加: 足柄上地域における小児科診療. 湘南心理研究会「コスモスの会」10 月定例会, 小田原, 2024, 10.

池川 健: Ebstein. 第 113 回北日本遠隔胎児セミナー (WEB 開催), 2024, 5.

池川 健: 基幹病院の医師の支援. 横浜市支援者研修, 横浜, 2024, 9.

磯崎 淳: アレルギーへの対応. 東京都保育士等キャリアアップ研修(保健福祉振興財団), 東京, 2024, 1.

磯崎 淳: アレルギーへの対応. 東京都保育士等キャリアアップ研修(保健福祉振興財団), 東京, 2024, 6.

磯崎 淳: 幼稚園における食物アレルギーへの対応. 横浜市幼稚園協会アレルギー研修, 横浜, 2024, 7.

磯崎 淳: 学校における食物アレルギー対応. 横浜市教育委員会アレルギー研修 (WEB 開催), 2024, 7.

磯崎 淳: アレルギーへの対応. 東京都保育士等キャリアアップ研修(保健福祉振興財団), 東京, 2024, 10.

伊藤秀一: RSV 重症化リスクとシナジス投与の重要性～赤ちゃんのための投与時期の決定について～. 子供を守ろうの会 in 山形 (WEB 開催), 2024, 2.

伊藤秀一: 2024 年度の神奈川県内のパリビズマブ投与について. Kanagawa RSV Information 2024 (WEB 開催), 2024, 2.

伊藤秀一: RSV 重症化リスクとシナジス投与の重要性～赤ちゃんのための投与時期の決定について～. 大阪シナジス学術講演会, 大阪, 2024, 2.

伊藤秀一: RS ウイルスを含めて、風邪診療を楽しむ! 福岡県新生児小児医療セミナー, 福岡, 2024, 3.

伊藤秀一: RSV 重症化リスクとシナジス投与の重要性～赤ちゃんのための投与時期の決定について. Keep on smiling with Synagis! (WEB 開催), 2024, 6.

伊藤秀一: 2024 年神奈川県における RSV 重症化抑制戦略. Ask the Experts about RSV (WEB 開催), 2024, 6.

伊藤秀一: RSV 重症化リスクとシナジス投与の重要性. SYNAGIS Expert Meeting in Osaka, 大阪, 2024, 8.

伊藤秀一: 原発性高ショウ酸尿症の診療に関する助言 (アドバイザー). PH (Primary hyperoxaluria) Expert Exchange Meeting, 東京, 2024, 9.

伊藤秀一: RSV 重症化リスクとシナジス投与の重要性～適切な薬剤選択と赤ちゃんのための投与時期の決定～. シナジス WEB シンポジウム 2024 (WEB 開催), 2024, 9.

伊藤秀一: ～今後の RSV 重症化抑制を考える～. 小児循環器 Web 講演会 (WEB 開催), 2024, 10.

伊藤秀一: aHUS の診断ー海外と日本ー. Japan aHUS Medical Forum 2024, 東京, 2024, 11.

伊藤秀一: ステロイドや免疫抑制剤の使い方. 125 回日本小児科学会秋田地方会, 秋田, 2024, 12.

大杉康司: 小児慢性疾患の心理的な側面・アプローチ. JCR ファーマ株式会社 社内講演会, 横浜, 2024, 6.

大杉康司: 子どもの成長曲線と成長障害. 第 727 回小田原医師会・足柄上医師会合同学術講演会, 小田原, 2024, 10.

栗田大輔：ITP 診療の実際 -IVIG と、その後-。横浜 General Pediatrics フォーラム（第 47 回横浜小児感染症懇話会），横浜，2024，9。

小張真吾：食物アレルギーへの対応。横浜市保育・教育支援課アレルギー研修，横浜，2024，7。

小張真吾：学童保育における食物アレルギー対応。横浜市放課後事業指導員研修「アレルギー」（WEB 開催），2024，9。

小張真吾：食物アレルギーへの対応。横浜市保育・教育支援課アレルギー研修，横浜，2024，12。

崎村青葉：カルボシステインによる多発固定薬疹の 1 例。令和 6 年度第 1 回小田原小児科医学会症例検討会，小田原，2024，9。

佐藤睦美：てんかんとレノックスガストー症候群について。日本新薬横浜支店厚木営業所社内勉強会（WEB 開催），2024，10。

佐藤睦美：てんかんをもつ医療的ケア児の成人移行～焦点てんかん治療におけるラコサミドの位置付け～。てんかんセミナー in 西湘，小田原，2024，4。

清水博之：RSV 流行疫学とパリビズマブ適正使用を目的とした RSV 入院患者の実態調査 2023。RSV 研究会（WEB 開催），2024，1。

清水博之：子どもたちの感染症の現在地。令和 5 年度第 2 回全国病児保育協議会神奈川支部研修会，横浜，2024，2。

清水博之：RSV 流行疫学とパリビズマブ適正使用を目的とした RSV 入院患者の実態調査 2023。横浜 General Pediatrics フォーラム（第 45 回横浜小児感染症懇話会），横浜，2024，2。

清水博之：RSV 流行疫学とパリビズマブ適正使用を目的とした RSV 入院患者の実態調査 2023。Save the Smallbabies Symposium 2024（WEB 開催），2024，2。

清水博之：Life-course immunization のすゝめ。令和 6 年度定期予防接種事業説明会，川崎，2024，2。

清水博之：先天梅毒の動向と課題. 令和 5 年度神奈川県感染症発生動向調査解析委員会, 茅ヶ崎, 2024, 2.

清水博之：当院における新型コロナウイルス感染症の実例. 湘南 COVID-19 セミナー, 藤沢, 2024, 2.

清水博之：RSV 流行疫学とパリビズマブ適正使用を目的とした神奈川県 RSV 入院患者の実態調査. 北関東新生児懇話会, 東京, 2024, 3.

清水博之：子どもたちの感染症の現在地. 令和 5 年度病児・病後児保育事業研修会, 藤沢, 2024, 3.

清水博之：誰でもできる！症例報告の書き方. 横浜市大小児科若手小児科医勉強会（WEB 開催）, 2024, 3.

清水博之：RSV 流行疫学とパリビズマブ適正使用を目的とした神奈川県 RSV 入院患者の実態調査. あいち新生児フォーラム, 名古屋, 2024, 3.

清水博之：RSV 流行疫学とパリビズマブ適正使用を目的とした神奈川県 RSV 入院患者の実態調査. Pediatric TV Symposium（WEB 開催）, 2024, 4.

清水博之：RSV 重症化抑制のためのこれからの戦略. アストラゼネカ社内勉強会（WEB 開催）, 2024, 5.

清水博之, 川田智子：普通の腎盂腎炎のハズなのに…。第 108 回 Tokyo Infection Conference, 東京, 2024, 5.

清水博之：【特別講演】RSV 重症化抑制の意義～ニルセビマブの位置づけ～. 第 472 回相模原市小児科医会月例懇話会（WEB 開催）, 2024, 6.

清水博之：【特別講演】RSV 重症化抑制の意義～ニルセビマブという選択肢. RSV Expert Web Seminar in Kanagawa（WEB 開催）, 2024, 7.

清水博之：肺炎球菌ワクチンの変遷と新たな選択肢“プレベナー20”. プレベナー20 小児インターネットシンポジウム（WEB 開催）, 2024, 7.

清水博之：私の考える新型コロナウイルス感染症治療の考え方. 塩野義製薬社内研修会 (WEB 開催), 2024, 8.

清水博之：小児感染症の Up To Date. 第 6 回小児科フォーラム in Yokohama, 横浜, 2024, 9.

清水博之：こどもの感染症の診かた、考え方. 横浜労災病院小児科勉強会 (WEB 開催), 2024, 9.

清水博之：Life Course Immunization のすゝめ～子どもとおとなに必要なワクチン最新情報. 令和 6 年度藤沢市定期予防接種研修会 (WEB 開催), 2024, 10.

清水博之：変動する RSV 流行疫学に我々はどう対峙すべきか. 第 20 回神奈川小児循環器研究会, 横浜, 2024, 10.

清水博之：侵襲性肺炎球菌感染症をいかに減らすか～プレベナー20 の定期接種導入で変わる～. プレベナー20 小児インターネットシンポジウム (WEB 開催), 2024, 11.

白土牧子：RS ウイルスによる急性脳症の 1 例. 令和 6 年度第 1 回小田原小児科医会症例検討会, 小田原, 2024, 9.

只木弘美：小児アレルギー疾患のトータルケア. 横浜市南西部小児科医会・戸塚区医会, 横浜, 2024, 2.

只木弘美：モイゼルト軟膏による寛解導入例. Moizert Expert Meeting, 横浜, 2024, 3.

只木弘美：小児アトピー性皮膚炎治療の up to date. 小児アトピー性皮膚炎セミナー会, 横浜, 2024, 3.

只木弘美：小児科医に求められる小児アトピー性皮膚炎の治療戦略. Type 2 Forum in Yokohama, 横浜, 2024, 5.

只木弘美：小児のアトピー性皮膚炎を考える～デュピクセントがもたらした新しい治療戦略～. アトピー性皮膚炎治療を All Age で考える会 in 横浜, 横浜, 2024, 11.

只木弘美：これからのアトピー性皮膚炎治療を考える～スキンケアの重要性～. Women's

Health Seminar, 藤沢, 2024, 12.

中野裕介：経皮的心房中隔欠損閉鎖術における経食道心エコー．日本心エコー図学会 e-learning advanced 小児（WEB 講座），2024, 1.

中野裕介：横浜市立大学における TPVI の一例．Harmony Web Seminar（WEB 開催），2024, 1.

中野裕介：複雑性心疾患ケース小児例から．第 26 回エコーウインターセミナー, 松本, 2024, 2.

中野裕介：無脾症、右側相同の術前心エコー．第 22 回日本心エコー図学会秋期講習会，東京, 2024, 11.

成相昭吉：子どもとおとなの IPD を防ぐ新たな肺炎球菌ワクチン - 上咽頭定着を抑止することの重要性 - . 横浜 General Pediatrics フォーラム (第 45 回横浜感染症懇話会), 横浜, 2024, 2.

成相昭吉：支援の必要な高齢者を守るための感染対策．安来市医療介護合同勉強会，安来, 2024, 3.

成相昭吉：コロナ新興後の子どもの診療に役だててきた漢方：気道感染症と心身症に“手ぶらで帰さない”優しい対応を目指して．大田市医師会学術講演会，大田, 2024, 3.

成相昭吉：RS ウイルス感染症から高齢者を守る新しいワクチン - 乳幼児の実情から基本情報を押さえてみましょう - . 島根東部地区 RSV ワクチン講演会，松江, 2024, 5.

成相昭吉：あらためて，1 歳 6 か月児健診，3 歳児健診を確認してみましょう．安来市医師会学術講演会，安来, 2024, 4.

成相昭吉：職場における感染症対策の実際．島根県医師会感染症対策講演会，松江, 2024, 6.

成相昭吉：子どもの気道感染症への優しい対応 - 控えたい薬剤，効果を期待したい漢方 - . 安来市医師会学術講演会，安来, 2024, 7.

成相昭吉：この秋使用可能な COVID-19 ワクチン - あらためて感染と予防について考えてみましょう - . 松江市医師会学術講演会, 松江, 2024, 8.

成相昭吉：呼吸器感染症から高齢者を守るための予防戦略 - COVID-19 も含む 4 つの呼吸器感染症の新たな知見を踏まえて - . COVID-19 予防 Web セミナー in 島根 (WEB 開催), 2024, 9.

成相昭吉：コロナワクチン選択と今冬必要なインフルエンザ・マイコプラズマへの対応. 安来市医師会学術講演会, 安来, 2024, 10.

成相昭吉：妊婦への RSV ワクチン接種に期待されること - すべての乳児を RSV 感染症から守るための新たな戦略 - . 島根県東部圏域周産期医療連絡協議会, 松江, 2024, 11.

成相昭吉：知っておきたい今冬の市中感染症 - 訪問看護先で自分を守る, 利用者を守る - . 令和 6 年度島根県訪問看護ステーション協会研修会, 出雲, 2024, 12.

西村謙一, 萬木文佳, 大原亜沙実, 服部成良, 野澤 智, 伊藤秀一：当科における小児期発症ぶどう膜炎患者と眼科小児科連携カンファレンスの取り組み. 第 53 回横浜リウマチフォーラム, 横浜, 2024, 3.

西村謙一：寛解達成後にカナキマブを減量された全身型若年性特発性関節炎患者の実態. TeMPRA 2024, 横浜, 2024, 9.

西村謙一, 水田麻雄, 江波戸孝輔：Discussion1 全身型若年性特発性関節炎. JISESAI の会 (JIA Seminar for Young Pediatric Rheumatologists)2024 (WEB 開催), 2024, 12.

西山邦幸：日常診療でみる内分泌疾患. 第 54 回横浜市南西部小児疾患研究会, 横浜, 2024, 6.

沼沢慶太, 北尾牧子, 志賀健太郎：当院で診断された小児 1 型糖尿病 148 症例の年齢別の C ペプチドの推移. 第 57 回日本小児内分泌学会学術集会, 横浜, 2024, 10.

服部成良：小児結核の基礎知識と BCG ワクチン. BCG ワクチン研修会 (WEB 開催), 2024, 11.

原 良紀：ハンズオンセミナー (小児関節エコー). Rheumatoid arthritis Imaging Star

Seminar in Tokyo, 東京, 2024, 3.

原 良紀: ハンズオンセミナー (小児関節エコー). 日本小児リウマチ学会学術集会, 京都, 2024, 10.

鉾碕竜範: 過去 5 年間の学校心電図検診を振り返る. 令和 5 年度横浜市学校心臓検診判定委員会, 横浜, 2024, 3.

星 颯太: 不全型川崎病に合併した心筋炎の 1 例. 令和 6 年度第 1 回小田原小児科医会症例検討会, 小田原, 2024, 9.

本井宏尚: 小児薬剤抵抗性てんかんの治療戦略. 横浜市小児科医会研修会, 横浜, 2024, 7.

本井宏尚: ～Dravet 症候群における適切な抗てんかん薬併用を考える～. 日本新薬 フェンフルラミン座談会, 横浜, 2024, 9.

本井宏尚: 当院における Lennox-Gastaut 症候群に対するフェンフルラミンの治療経験. 難治性てんかんを考える会, 横浜, 2024, 10.

山崎雅明, 佐々木恵吾, 小笹浩二, 咲間裕之, 菊池信行: 胃腸炎罹患後に無尿を伴う急性腎障害に至った 1 例. 第 129 回横浜市東部小児科医会, 横浜, 2024, 3.

横須賀とも子: AYA 世代のがんと在宅医療～10 代のこどもたちを中心に～. 神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター研修会 (WEB 開催), 2024, 7.

脇口宏行, 西村謙一, 江波戸孝輔: 症例検討 関節型若年性特発性関節炎. 小児リウマチ研修会 2024, 横浜, 2024, 6.

渡辺重朗: WPW 症候群 -右側副伝導路-. 第 17 回静岡小児不整脈セミナー, 静岡, 2024, 9.

渡辺好宏: 当科におけるレノックス・ガストー症候群の診療について. 日本新薬社内研修会, 横浜, 2024, 8.

【市民講座】

青木理加：子どもの病気や事故への対応について．開成町ファミリーサポートセンター事業
まかせて会員向け研修会，開成，2024，6．

青木理加：乳幼児の病気への対応．開成町駅前子育て支援センターあじさいっこ，開成，
2024，10．

青木理加：子どもの病気や事故への対応について．開成町ファミリーサポートセンター事業
まかせて会員向け研修会，開成，2024，11．

市川泰広：子どもの発熱．済生会横浜市東部病院市民公開講座，横浜，2024，12．

佐藤睦美，白土牧子：てんかん当事者と親・きょうだいのためのパープルサロン（日本てん
かん協会神奈川県支部）．小田原，2024，9．

志賀健太郎：こども医療講話 小児の事故とその予防について．MINAMI こども Q(救)Q(急)
講演&メディカルコンサート，横浜，2024，9．

只木弘美：食物アレルギーの最新の知識～保育現場での対応～．全国病児・病後児保育協議
会研修会，横浜，2024，9．

成相昭吉：“学校にいけない子どもたち”をささやかであっても支えたい：安来市医師会診
療所小児科での“かかわり”の実際．第1回安来市医師会診療所“ぽかぽかセミナー”，安
来，2024，8．

成相昭吉：今年話題になった感染症と感染予防策．出雲市建築組合協会研修会，出雲，2024，
9．

成相昭吉：6 か月齢以上の子どもたちに10月からインフルエンザワクチンを接種しましょ
う：ご存じでしたか？コロナ前，子どもの死因第4位がインフルエンザだったことを．第2
回安来市医師会診療所“ぽかぽかセミナー”，安来，2024，9．

成相昭吉：かぜシーズン到来！子どもの“かぜ”と「かぜ薬」の真実：知っておきたい“か
ぜの自然歴”と「安全で有効な漢方薬」の選択．第3回安来市医師会診療所“ぽかぽかセミ

ナー” , 安来, 2024, 11.

銚碕竜範: 保育園での急病で困ったら…横浜市の小児救急医療システムと病気のお話. 横浜市泉区保育園医部会講演会, 横浜, 2024, 10.

本井宏尚: 小児てんかんの基本と発作時の対応 てんかん診療 uptodate. 令和5年度 KISTEC 先端科学技術セミナー, 川崎, 2024, 2.

矢内貴憲: データベース研究の実際と実例 - 臨床医の視点から. JMDC Education Festival 2024 夏 “一緒に学ぼう! 医療データの世界” オンラインセミナー (WEB 開催), 2024, 8.

渡辺好宏: 重症心身障がい児者の原因となる疾患・状態像の理解と対応. 令和6年度神奈川県小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研究会, 横浜, 2024, 9.

【取材協力】

清水博之: 藤沢市広報番組 ハミング藤沢 いきいき健康. レディオ湘南, 2024, 6, 18.

清水博之: 手足口病が流行中 ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱も 新型コロナが影響か 子どもの夏風邪 特徴は?…アルコール消毒は効きにくい. Yomidr. ヨミドクター 知りたい! 医療・健康・介護のニュース・解説, 読売新聞社の医療・健康・介護サイト, 2024, 7, 10. <https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20240709-OYTET50017/>

清水博之: マイコプラズマ肺炎の患者増 学校再開後に感染拡大の懸念は? 一部の人には薬剤耐性でマクロライド系抗菌薬効かず. Yomidr. ヨミドクター 知りたい! 医療・健康・介護のニュース・解説, 読売新聞社の医療・健康・介護サイト, 2024, 8, 27. <https://www.yomiuri.co.jp/yomidr/article/20240826-OYTET50011/>

【報告書】

北村勝彦（共同編者），吉村幸浩；横浜市感染症動向調査委員会：横浜市感染症動向調査事業概要 2023 年（令和 5 年）。横浜市医療局健康安全部健康安全課 横浜市医療局衛生研究所, 2024 URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/>

北村勝彦（共同編者），横浜市感染症動向調査委員会：横浜市感染症動向調査事業概要 2024 年（令和 6 年）。2024.

田中文字子，種市尋宙，小松充孝，杉浦至郎，西内律雄，神菌淳司，伊藤英介，祝原賢幸，江口真理子，江原 朗，大山昇一，鈴木 博，田代克弥，田中藤樹，土井庄三郎，林 泉彦，坂東由紀，渡部誠一，伊藤秀一，竹島泰弘，平山雅浩：日本小児科学会小児医療提供体制委員会報告. COVID-19 流行前後における小児医療の変化に関する調査. 日本小児科学会雑誌, 128(12) : 1576 - 1584, 2024.

【座長・代表世話人】

佐近琢磨：（開会挨拶）（一般演題）（特別講演）座長/当番世話人。第19回神奈川県川崎病研究会，横浜，2024，2.

清水博之：座長。第 15 回予防接種に対する研究報告会，東京，2024，2.

清水博之：大会長／座長（特別講演）。第33回神奈川県臨床検査医学会大会，横浜，2024，6.

清水博之：パネリスト。RSV Expert Web Seminar in Kanagawa（WEB開催），2024，7.

只木弘美：座長。第 61 回日本小児アレルギー学会，名古屋，2024，11.

只木弘美：当番世話人。第 78 回横浜市アレルギー懇話会，横浜，2024，11.

只木弘美：座長。こどものアレルギーと向き合う～舌下免疫療法とアトピー性皮膚炎～，横浜，2024，12.

西澤 崇：代表世話人。第 46 回横浜 General Pediatric フォーラム，横浜，2024，2.